

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院

平成25年度 業務の実績に関する評価結果

【参考資料】

平成26年 9月

岐阜県地方独立行政法人評価委員会

Ⅲ 小項目別自己評価結果一覧表

(→評価書では 小項目ごとの検証結果一覧表)

※一部、項目名を省略して記載しているものや、便宜的に項目名を付しているものがある。

大項目	中項目	小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果	
1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組	1-1 診療事業	1-1-1 より質の高い医療の提供	(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備	01	Ⅲ	Ⅲ
			(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備	02	Ⅲ	Ⅳ
			(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成	03	Ⅲ	Ⅲ
			(4) 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進	04	Ⅲ	Ⅲ
			(5) コメディカルに対する専門研修の実施	05	Ⅲ	Ⅲ
			(6) EBMの推進	06	Ⅲ	Ⅲ
			(7) 医療安全対策の充実	07	Ⅲ	Ⅳ
			(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備	08	Ⅲ	Ⅲ
	1-1-2 患者・住民サービスの向上	(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善	09	Ⅲ	Ⅲ	
		(2) 院内環境の快適性向上	10	Ⅲ	Ⅲ	
		(3) 医療情報に関する相談体制の整備	11	Ⅲ	Ⅲ	
		(4) 患者中心の医療の提供	12	Ⅲ	Ⅲ	
		(5) インフォームド・コンセント・サト・レ・ニの徹底	13	Ⅲ	Ⅲ	
		(6) 満足度調査の病院運営への反映	14	Ⅲ	Ⅲ	
	1-1-3 診療体制の充実	(1) 患者動向や 医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実	15	Ⅲ	Ⅲ	
		(2) 多様な専門職の積極的な活用	16	Ⅲ	Ⅲ	
	1-1-4 近隣医療機関等との役割分担・連携	(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上	17	Ⅳ	Ⅳ	
		(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及	18	Ⅲ	Ⅲ	
		(3) 退院後の療養に関する各種情報の提供	19	Ⅳ	Ⅳ	
	1-1-5 重点的に取り組む医療	(1) 救命救急医療	20	Ⅲ	Ⅲ	
		(2) 心臓血管疾患医療	21	Ⅲ	Ⅲ	
		(3) 母子周産期医療	22	Ⅲ	Ⅲ	
		(4) がん診療拠点	23	Ⅲ	Ⅳ	
		(5) 精神科医療・感染症医療	24	Ⅲ	Ⅳ	
		(6) 緩和ケア	25	Ⅲ	Ⅲ	

大項目	中項目	小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果		
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組	1-2 調査研究事業	1-2-1 調査・臨床研究等推進	(1) 治験管理事務、治験コーディネーター業務推進のための人材育成、体制強化及び受託件数の増加	26	Ⅲ	Ⅲ	
			1-2-2 診療等の情報活用	(1) 医療総合情報システムの各種データの有効活用	27	Ⅳ	Ⅳ
				(2) 集積したエビデンスの活用	28	Ⅲ	Ⅲ
	1-2-3 保健医療情報の提供・発信	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催	29	Ⅲ	Ⅲ		
		(2) 保健医療、健康管理等の情報提供	30	Ⅲ	Ⅲ		
	1-3 教育研修事業	1-3-1 卒後臨床研修等の充実	(1) 質の高い医療従事者の養成	31	Ⅲ	Ⅲ	
			(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等	32	Ⅲ	Ⅲ	
		1-3-2 看護学生、救急救命士等教育	(1) 医学生、看護学生の実習受入れ	33	Ⅲ	Ⅲ	
	(2) 地域医療従事者への研修の実施及び充実		34	Ⅲ	Ⅲ		
	1-4 地域支援事業	1-4-1 地域医療への支援	(1) 地域医療水準の向上	35	Ⅲ	Ⅲ	
			(2) 医師不足、へき地医療機関への人的支援	36	Ⅳ	Ⅳ	
		1-4-2 社会的な要請への協力	37	Ⅲ	Ⅲ		
	1-5 災害等発生時の医療救護	1-5-1 医療救護活動の拠点機能	(1) (医療救護活動拠点機能確保、訓練実施)	38	Ⅲ	Ⅲ	
			1-5-2 他県等の医療救護への協力	(1) 大規模災害発生時のDMATの派遣	39	Ⅲ	Ⅲ
		(2) DMATの質の向上と維持		40	Ⅲ	Ⅲ	
	2-1 効率的な業務運営体制の確立	2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築	41	Ⅲ	Ⅲ	
			(2) 各種業務のIT化の推進	42	Ⅲ	Ⅲ	
(3) アウトソーシング導入による合理化			43	Ⅲ	Ⅲ		
(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立			44	Ⅲ	Ⅲ		
(5) 時差出勤制度の導入			45	Ⅲ	Ⅲ		
2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用		(1) 弾力的運用の実施	46	Ⅲ	Ⅲ		
		(2) 効果的な体制による医療の提供	47	Ⅳ	Ⅳ		
		(3) 3法人間人事交流による適正な職員配置	48	Ⅲ	Ⅲ		
2-1-3 人事評価システムの構築		49	Ⅲ	Ⅲ			

大項目	中項目	小項目	項目通番	自己評価	検証結果	
	2-1-4	事務部門の専門性の向上	50	Ⅲ	Ⅲ	
	2-2	2-2-1 多様な契約手法の導入	51	Ⅲ	Ⅲ	
業務運営の見直しや効率化による収支改善	2-2-2	(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的活用、DPCの推進	52	Ⅲ	Ⅲ	
		(2) 未収金の発生防止対策等	53	Ⅲ	Ⅲ	
	2-2-3	費用の削減	54	Ⅲ	Ⅲ	
	3	予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画		55	Ⅳ	Ⅳ
4	短期借入金の限度額		—	—	—	
5	重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画		—	—	—	
6	剰余金の使途		—	—	—	
7	料金に関する事項（※年度計画に対応項目なし）		—	—	—	
8 その他県の規則で定める業務運営に関する事項	8-1 職員の就労環境の向上	(1) (病院全体の勤務環境の改善)	56	Ⅲ	Ⅲ	
		(2) (保育所の受け入れ体制の強化)	57	Ⅳ	Ⅳ	
		(3) (看護師の就労環境の整備)	58	Ⅲ	Ⅲ	
		(4) (健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実)	59	Ⅲ	Ⅲ	
	8-2	県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項		60	Ⅲ	Ⅲ
	8-3	医療機器・施設整備に関する事項		61	Ⅲ	Ⅲ
	8-4	法人が負担する債務の償還に関する事項		62	Ⅲ	Ⅲ

IV 項目別の状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
1-1 診療事業
1-1-1 より質の高い医療の提供

中期目標	3 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する事項
	<p>3-1 診療事業</p> <p>東濃地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>3-1-1 より質の高い医療の提供</p> <p>法人が有する医師、看護師、コメディカルや、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。</p> <p>特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保等に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。</p> <p>また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの導入促進に努めること。</p> <p>さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、医療安全対策を徹底すること。</p>

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
01	(1) 高度先進医療機器の計画的な更新・整備 CT (64・128スライス)、3T MRI、PET/CT、連続血管撮影装置、超音波診断装置、ESWL、内視鏡、手術用顕微鏡など高度医療機器を整備しているが、老朽化した機器も現存しているため、診療各科の需要に応じて新規購入及び更新を計画的に進める。	III	III	III		(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備 ・ 高度医療機器について昨年度作成した中期的な整備計画を基に更新・整備を行う。	(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備 ・ 放射線機器更新計画に基づき、平成13年度に購入し老朽化が進んでいた磁気共鳴画像診断装置(MRI)の更新を図った。 ・ 平成11年度に購入し、故障時における一部保守部品の供給停止等、サービスサポート体制が不安定となっていた乳腺X線撮影装置(マンモグラフィ)を更新した。 ・ 更新により、機器の安定稼働が得られるとともに、新たな機能の付加(断層撮影)により従来機器では得られなかった臨床上重要な画像が得られるようになった。 ・ 医療機器整備委員会において各診療科の要望を取りまとめて、費用対効果、需要と医療技術の進歩などを総合的に判断して購入予定機器を選定し、新規購入や更新を計画的に進めた。	III	III	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、特筆すべき 事項																										
							【更新・整備を実施した機器の稼働状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電子内視鏡システム</td> <td>H24</td> <td>毎日</td> <td>毎日</td> </tr> <tr> <td>電気生理記録システム</td> <td>H24</td> <td>2回/週</td> <td>2回/週</td> </tr> <tr> <td>X線デジタル画像撮影装置</td> <td>H24</td> <td>毎日</td> <td>毎日</td> </tr> <tr> <td>磁気共鳴画像装置</td> <td>H25</td> <td>—</td> <td>毎日</td> </tr> <tr> <td>乳腺X線撮像装置</td> <td>H25</td> <td>—</td> <td>毎日</td> </tr> </tbody> </table> ※平成24・25年度に更新整備した主な機器が対象			機器名	整備年度	H24	H25	電子内視鏡システム	H24	毎日	毎日	電気生理記録システム	H24	2回/週	2回/週	X線デジタル画像撮影装置	H24	毎日	毎日	磁気共鳴画像装置	H25	—	毎日	乳腺X線撮像装置	H25	—	毎日			
機器名	整備年度	H24	H25																																	
電子内視鏡システム	H24	毎日	毎日																																	
電気生理記録システム	H24	2回/週	2回/週																																	
X線デジタル画像撮影装置	H24	毎日	毎日																																	
磁気共鳴画像装置	H25	—	毎日																																	
乳腺X線撮像装置	H25	—	毎日																																	
02	(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 職員の負担を軽減するため、職種毎の業務量に見合った人員数を確保し、時間外勤務の縮減に努めるとともに、職務に専念できる環境整備の一環として、院内保育所についてソフト面、ハード面の両面から充実を図り、働きやすい環境の整備及び職員の定着化を図る。	III	IV	III	(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> 医師の業務のさらなる緩和を図るために、計画的な医師事務作業補助者の採用に努め、「25:1」補助体制加算の早期導入を進める。 看護師については、夜間専従看護師の採用、部分休業や短時間勤務の推奨により、ライフスタイルに柔軟に対応した勤務体制を整え、必要な人材の確保に努める。 職務に専念できる職場環境整備の一環として、院内保育所での夜間保育及び病児保育について、保護者の意見を尊重した保育内容の検討を行う。 	(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助者を24名から27名に増員し、さらに医師から要望の強かった病棟にも1名を配置して医師の過密業務の軽減を図り、補助体制加算は昨年度の30:1から25:1となった。 夜勤専従看護師の配置 <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センター及び救急外来にかかる夜勤専従看護師（非常勤職員）の制度化を行い、救命救急センターに1名を採用した。 また、正規職員においても、職員の意見を十分に汲み取りながら勤務表の作成を行った。 短時間就労制の実施 <ul style="list-style-type: none"> 働き手のニーズに合わせ週1回、1日1時間以上の勤務を提案し、週20時間未満の勤務をしている非常勤職員が10名在職している。 平成25年4月から民間会社に保育業務を委託し、夜間保育及び休日保育を開始するとともに、病児保育の利便性を向上させた。 	III	IV	医療事務作業補助者を増員し、補助体制加算を達成するとともに、夜勤専従看護師の配置など努力がみられる。病児保育利用実績の大幅な増加も非常に高く評価できる。																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、特筆すべき 事項																			
						可能 ・平成25年度実績92回 【院内保育所の運営状況】 (各年度末時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>44人</td> <td>37人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>9人</td> <td>8人</td> <td>委託先にて必 要人数を配置</td> </tr> </tbody> </table> 【病児保育利用実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延人数</td> <td>12人</td> <td>20人</td> <td>84人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	入所者数	44人	37人	36人	保育士数	9人	8人	委託先にて必 要人数を配置	区分\年度	H23	H24	H25	延人数	12人	20人	84人			
区分\年度	H23	H24	H25																										
入所者数	44人	37人	36人																										
保育士数	9人	8人	委託先にて必 要人数を配置																										
区分\年度	H23	H24	H25																										
延人数	12人	20人	84人																										
03	(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 高度な医療を提供できる医師の養成のため、関連大学や学会における教育研修に積極的に参加させ、院内においてフィードバックできる体制の確立と研修医に対する充実した研修プログラムを実行する。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 ・名古屋大学、名古屋市立大学とは、従来どおり関連する各科の医師の教育研修や連携を継続する。 ・岐阜県医師確保育成コンソーシアム及び名古屋大学卒後臨床研修・キャリア形成支援センターと連携し、医師としての資質向上を図る。 ・卒後臨床研修評価機構による認定施設の取得に向けた取り組みを行う。	(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 ・医師確保対策として、名古屋大学及び岐阜大学の病院実習生を積極的に受け入れた。 【実績】 名古屋大学8名、岐阜大学1名 ・岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による勉強会の開催や外傷教育研修を実施した。 ・卒後臨床研修評価機構による認定施設の取得に向けた取り組みを行った。 ・医師としての資質向上を目的として、病院が費用負担し延べ316人の医師が学会に参加した。欧州心臓病学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器外科学会、日本救急医学会 など 【海外学会への派遣実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣用務</th> <th>派遣先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>欧州心臓病学会</td> <td>オランダ・アムステルダム</td> </tr> </tbody> </table> 【医師の研修派遣・受入実績人数】	派遣用務	派遣先	欧州心臓病学会	オランダ・アムステルダム	Ⅲ	Ⅲ																	
派遣用務	派遣先																												
欧州心臓病学会	オランダ・アムステルダム																												

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、特筆すべき 事項																			
						<ul style="list-style-type: none"> ・日本放射線技術学会 	<table border="1"> <tr><td>医療安全教育セミナー</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>P E T研修セミナー</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>治療専門技師認定機構講習会</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>医学物理士コース研修</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>放射線腫瘍学セミナー</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>ストロンチウム90治療安全講習会</td><td>2名参加</td></tr> <tr><td>精度良くDXAで骨量測定するための講習会</td><td>3名参加</td></tr> <tr><td>医学物理士コース研修生</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>A i 認定放射線技師講習会</td><td>1名参加</td></tr> <tr><td>その他</td><td>資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を支援</td></tr> </table>	医療安全教育セミナー	1名参加	P E T研修セミナー	1名参加	治療専門技師認定機構講習会	1名参加	医学物理士コース研修	1名参加	放射線腫瘍学セミナー	1名参加	ストロンチウム90治療安全講習会	2名参加	精度良くDXAで骨量測定するための講習会	3名参加	医学物理士コース研修生	1名参加	A i 認定放射線技師講習会	1名参加	その他	資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を支援		
医療安全教育セミナー	1名参加																												
P E T研修セミナー	1名参加																												
治療専門技師認定機構講習会	1名参加																												
医学物理士コース研修	1名参加																												
放射線腫瘍学セミナー	1名参加																												
ストロンチウム90治療安全講習会	2名参加																												
精度良くDXAで骨量測定するための講習会	3名参加																												
医学物理士コース研修生	1名参加																												
A i 認定放射線技師講習会	1名参加																												
その他	資格維持または最新知識の取得のためのセミナー、学会への参加を支援																												
					<p>【臨床検査科】</p> <p><支認認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> ・細粒検査士 ・超音波検査士 ・認定輸血検査技師 ・感染制御認定臨床微生物検査技師 ・認定臨床微生物検査技師 ・認定血液検査技師 ・各種二級臨床検査士 ・その他各種学会認定資格 <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種行政機関、各種学術団体の主催する学会、研修会等 	<p>【臨床検査科】</p> <table border="1"> <tr><td>認定血管造影技師</td><td>資格取得 2名</td></tr> <tr><td>学会参加</td><td>5学会 17名</td></tr> <tr><td>研修会参加</td><td>10研修会 12名</td></tr> <tr><td>精度管理報告会参加</td><td>2報告会 2名</td></tr> </table>	認定血管造影技師	資格取得 2名	学会参加	5学会 17名	研修会参加	10研修会 12名	精度管理報告会参加	2報告会 2名															
認定血管造影技師	資格取得 2名																												
学会参加	5学会 17名																												
研修会参加	10研修会 12名																												
精度管理報告会参加	2報告会 2名																												
					<p>【臨床工芸部】</p> <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体外循環技術認定士、呼吸療法認定士、透析療法認定士の資格更新のための学会、研修会等 	<p>【臨床工芸部】</p> <table border="1"> <tr><td>透析安全管理責任者</td><td>資格取得 2名</td></tr> <tr><td>学会参加</td><td>国際学会-2学会1人 国内学会-7学会 5人</td></tr> <tr><td>研究会参加</td><td>29研究会 10人</td></tr> <tr><td>講習、研修会参加</td><td>25講習研修会 10人</td></tr> </table>	透析安全管理責任者	資格取得 2名	学会参加	国際学会-2学会1人 国内学会-7学会 5人	研究会参加	29研究会 10人	講習、研修会参加	25講習研修会 10人															
透析安全管理責任者	資格取得 2名																												
学会参加	国際学会-2学会1人 国内学会-7学会 5人																												
研究会参加	29研究会 10人																												
講習、研修会参加	25講習研修会 10人																												
					<p>【リハビリテーション科】</p> <p><支認認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> ・心臓リハビリテーション指導士 ・3学会合同呼吸療法認定士 ・日本糖尿病療養指導士 <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんのリハビリテーション関連研修 ・高次脳機能障害支援事業こともなう、必要な知識、診療に関する研修会 ・内部障害関連(呼吸、循環、代謝)に関する研修、講習会 ・手の外科(ハンドセラピー) 関連の知識、技術の習得 ・脳卒中急性期の作業療法に対するの更なる知識の習得 ・ICU、HDU 等急性期リハビリテーション知識、技術の習得 	<p>【リハビリテーション科】</p> <table border="1"> <tr><td>心臓リハビリテーション指導士</td><td>受験資格取得 2名</td></tr> <tr><td>3学会合同呼吸療法認定士</td><td>受験資格取得 1名</td></tr> <tr><td>がんのリハビリテーション研修ワークショップ</td><td>2チーム (内PT3名 OT1名) 参加</td></tr> <tr><td>心臓リハビリ関連学会</td><td>7名参加 (うち2名発表)</td></tr> <tr><td>ICU 等急性期リハ関連研修会</td><td>3名参加</td></tr> <tr><td>リハビリ関連学会</td><td>7名参加 (うち2名発表)</td></tr> <tr><td>リハビリ関連研修会</td><td>5名参加</td></tr> </table>	心臓リハビリテーション指導士	受験資格取得 2名	3学会合同呼吸療法認定士	受験資格取得 1名	がんのリハビリテーション研修ワークショップ	2チーム (内PT3名 OT1名) 参加	心臓リハビリ関連学会	7名参加 (うち2名発表)	ICU 等急性期リハ関連研修会	3名参加	リハビリ関連学会	7名参加 (うち2名発表)	リハビリ関連研修会	5名参加									
心臓リハビリテーション指導士	受験資格取得 2名																												
3学会合同呼吸療法認定士	受験資格取得 1名																												
がんのリハビリテーション研修ワークショップ	2チーム (内PT3名 OT1名) 参加																												
心臓リハビリ関連学会	7名参加 (うち2名発表)																												
ICU 等急性期リハ関連研修会	3名参加																												
リハビリ関連学会	7名参加 (うち2名発表)																												
リハビリ関連研修会	5名参加																												

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																															
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、特筆すべき 事項																															
						<ul style="list-style-type: none"> ・3学会合同呼吸療法認定士、認定講習会、受講資格取得 ・心臓リハビリテーション指導士受験資格取得 	<table border="1"> <tr> <td>日本摂食嚥下リハビリテーション学会</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>ディカースリア治療技術セミナー</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>心臓リハビリテーション指導士資格取得研修</td> <td>3名参加</td> </tr> <tr> <td>3学会合同呼吸療法認定士資格取得研修</td> <td>3名参加</td> </tr> </table>	日本摂食嚥下リハビリテーション学会	1名参加	ディカースリア治療技術セミナー	1名参加	心臓リハビリテーション指導士資格取得研修	3名参加	3学会合同呼吸療法認定士資格取得研修	3名参加																										
日本摂食嚥下リハビリテーション学会	1名参加																																								
ディカースリア治療技術セミナー	1名参加																																								
心臓リハビリテーション指導士資格取得研修	3名参加																																								
3学会合同呼吸療法認定士資格取得研修	3名参加																																								
					<p>【栄養管理部】</p> <p><支障認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病療養指導士 <p><講習・研修会等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病態栄養学会 ・静脈経腸栄養学会 ・食事療法学会 ・地域社会福祉財団主催管理栄養士研修会 ・専門資格更新のための学会・研修会への参加 ・その他栄養関連学会・研修会への参加 	<p>【栄養管理部】</p> <table border="1"> <tr> <td>糖尿病療養指導士</td> <td>資格取得 2名</td> </tr> <tr> <td>NST専門療法士</td> <td>資格取得 2名</td> </tr> <tr> <td>病態栄養専門士</td> <td>資格取得 1名</td> </tr> <tr> <td>日本糖尿病学会</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>日本静脈経腸栄養学会</td> <td>2名参加</td> </tr> <tr> <td>地域社会福祉財団主催管理栄養士研修会</td> <td>1名参加</td> </tr> </table>	糖尿病療養指導士	資格取得 2名	NST専門療法士	資格取得 2名	病態栄養専門士	資格取得 1名	日本糖尿病学会	1名参加	日本静脈経腸栄養学会	2名参加	地域社会福祉財団主催管理栄養士研修会	1名参加																							
糖尿病療養指導士	資格取得 2名																																								
NST専門療法士	資格取得 2名																																								
病態栄養専門士	資格取得 1名																																								
日本糖尿病学会	1名参加																																								
日本静脈経腸栄養学会	2名参加																																								
地域社会福祉財団主催管理栄養士研修会	1名参加																																								
					<p>【コメディカル専門研修の参加人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>25人</td> <td>24人</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>37人</td> <td>64人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>27人</td> <td>30人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>8人</td> <td>14人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>21人</td> <td>30人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>7人</td> <td>5人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>125人</td> <td>167人</td> <td>163人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	薬剤師	25人	24人	24人	臨床検査技師	37人	64人	33人	放射線技師	27人	30人	33人	臨床工学技士	8人	14人	18人	リハビリ技師	21人	30人	35人	管理栄養士	7人	5人	20人	合計	125人	167人	163人				
区分\年度	H23	H24	H25																																						
薬剤師	25人	24人	24人																																						
臨床検査技師	37人	64人	33人																																						
放射線技師	27人	30人	33人																																						
臨床工学技士	8人	14人	18人																																						
リハビリ技師	21人	30人	35人																																						
管理栄養士	7人	5人	20人																																						
合計	125人	167人	163人																																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、特筆すべき 事項																										
06	(6) EBMの推進 各診療科の疾患についてのガイドラインに基づいた診療の確立と院内での治療成績などの集積を充実しEBM (Evidence Based Medicine の略、科学的根拠に基づいた医療) の実践を推進する。	III	III	III		(6) EBMの推進 <ul style="list-style-type: none"> 診療ガイドラインの充実と診療実績の把握を行う。 クリニカルパスについての実績を検証し、内容の充実を図る。 クリニカルインディケーターについて精査し、経年的な評価を行う。 	(6) EBMの推進 <ul style="list-style-type: none"> 各診療科において診療ガイドラインの充実を進めたことに伴い、ガイドラインに基づいた診療が浸透してきた。 診療の実情や使用頻度により整理し、クリニカルパスを検証・整理した。 クリニカルパスの実数 196 <p>【診療科別クリニカルパスの内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科名</th> <th>パス数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>呼吸器科</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>外科・消化器外科</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>循環器科</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table> <p>【クリニカルパス種類数・使用数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類数</td> <td>145種</td> <td>154種</td> <td>144種</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>5,702件</td> <td>5,941件</td> <td>6,457件</td> </tr> </tbody> </table>	診療科名	パス数	産婦人科	28	整形外科	36	呼吸器科	17	外科・消化器外科	24	循環器科	12	その他	79	区分\年度	H23	H24	H25	種類数	145種	154種	144種	使用数	5,702件	5,941件	6,457件	III	III	
診療科名	パス数																																			
産婦人科	28																																			
整形外科	36																																			
呼吸器科	17																																			
外科・消化器外科	24																																			
循環器科	12																																			
その他	79																																			
区分\年度	H23	H24	H25																																	
種類数	145種	154種	144種																																	
使用数	5,702件	5,941件	6,457件																																	
07	(7) 医療安全対策の充実 医療安全部におけるインシデントレポートの集積分析及び事例の検討、アクシデントに対する迅速な対応を行い、毎月安全管理における検討と年2回の研修会及び各部署における検討会を行い事例及び対策などの共有化を図る。	III	IV	IV	(7) 医療安全対策の充実 <ul style="list-style-type: none"> 医療の質および安全の確保のため、インシデント及びアクシデント案件があった場合は、各部署にてRCA (根本原因分析) 実施を徹底する。 医療安全部会、医療安全管理委員会などにおいてインシデント、アクシデントレポートの集積及び分析を行い、分析結果や検討内容を全職員に周知徹底する。 	(7) 医療安全対策の充実 <ul style="list-style-type: none"> 各部署での医療安全に対する意識が高まり、インシデント報告数が増加した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>月平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>265件</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>289件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 報告されたインシデント事例は、優先順位を考え、 	年度	月平均	H24	265件	H25	289件	III	IV	インシデントの件数が引き続き増加しており、医療安全対策の充実に大きく貢献したものと評価できる。																					
年度	月平均																																			
H24	265件																																			
H25	289件																																			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、特筆すべき 事項																									
						<ul style="list-style-type: none"> 専従の医療安全管理者、リスクマネージャーの活動を支援し、医療安全に関する活動を充実する。 医療安全に関する院内研修会（外部講師や職員によるシンポジウム等）を積極的に開催するとともに欠席者に対しても研修内容が伝達されるようにフォローアップを行う。 昨年度から取り組んでいる患者サポート体制カンファレンスを継続して実施する。 	<p>カンファレンスを開催し、安全対策の検討と強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> アクシデント事例に関しては、RCA分析やSH ELL分析を行うことで再発防止に努めた。 <p>【インシデント・アクシデント件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分/年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>2,642件</td> <td>3,169件</td> <td>3,473件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>21件</td> <td>17件</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,663件</td> <td>3,186件</td> <td>3,495件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 定期的で開催している医療安全部会、医療安全管理委員会において、共有すべきインシデント事例を取り上げ2～4事例/月を検討し、管理会議や医局会、看護部委員会で注意喚起を行った。 11月24日～11月30日の医療安全推進週間には、「患者誤認防止、誤薬防止の啓発週間」として入院中の患者143名、病院職員712名にアンケート調査を実施した。 医療安全研修会については、全員参加を目標に年2回開催し、延べ911人の出席者があった。欠席者には、研修内容を録画したDVDビデオを視聴させた。 <p>【医療安全研修会開催実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月12日</td> <td>患者はなぜ怒る、クレーム・暴力の対応</td> <td>482人</td> </tr> <tr> <td>1月30日</td> <td>麻薬についてのお話し</td> <td>429人</td> </tr> </tbody> </table>	区分/年度	H23	H24	H25	インシデント	2,642件	3,169件	3,473件	アクシデント	21件	17件	22件	合計	2,663件	3,186件	3,495件	開催日	テーマ	参加人数	9月12日	患者はなぜ怒る、クレーム・暴力の対応	482人	1月30日	麻薬についてのお話し	429人			
区分/年度	H23	H24	H25																																
インシデント	2,642件	3,169件	3,473件																																
アクシデント	21件	17件	22件																																
合計	2,663件	3,186件	3,495件																																
開催日	テーマ	参加人数																																	
9月12日	患者はなぜ怒る、クレーム・暴力の対応	482人																																	
1月30日	麻薬についてのお話し	429人																																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説 明、特筆すべき 事項
08	(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備 感染管理看護師を中心にサーベイランス、コンサルテーション、職員教育等を実施し、院内の感染防止対策に務める。	IV	III	III	(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備 ・ 入院患者や職員に感染した場合やアウトブレイク時における迅速かつ適切な対応（早期察知、早期介入、調査、分析、指導）を実践する。 ・ 職業感染対策や院内の感染対策の現状を評価し、より効果的な対策につながるよう ICT（Infection Control Team の略、感染防止対策チーム）の活動を充実する。 ・ 感染防止に関する院内研修会（外部講師や職員によるシンポジウム等）を積極的に開催するとともに欠席者に対しても研修内容が伝達されるようにフォローアップを行う。 ・ 他の医療施設や保健所との連携を強化し、地域全体の感染対策の向上に努める。	(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備 ・ 現場からの患者・職員の感染症発症時の早期察知と報告により、ICTの早期介入と現場の感染対策の強化・実施により、問題となるような感染事例はなかった。 ・ 院内結核曝露事例は5事例あり、うち2事例に対し接触者健診を実施した。また、潜在性肺結核感染のベースライン把握のため、スタッフを対象にTスポット検査を開始した。針刺し等の血液暴露事例の報告、ワクチン接種をはじめ職業感染対策について衛生委員会と検討・協働し職員にはICT通信を発行（奇数月）し啓蒙を行った。 ・ 委託含む全職員対象に、感染対策教育講演会を年2回実施し、延べ976人の出席者があった。欠席者に対し、研修内容をまとめたICT通信による書面学習と、録画したDVDビデオを視聴させた。また、委託業者も含めた職種別、レベル別の勉強会・研修会等も開催した。 ・ 感染防止対策加算1-1 施設カンファレンスは、相互ラウンドを2回実施した。加算1-2 施設カンファレンスは、東濃保健所長参加の合同カンファレンスを4回実施し、連携の強化を図った。	III	III		

【感染対策教育講演会開催実績】		
開催日	テーマ	参加数
8月19日・20日	結核について	543人
11月19日	感染対策の重要なポイント	433人

中期目標	<p>3-1-2 患者・住民サービスの向上</p> <p>来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の整備、医療情報に関する相談体制の整備・充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。</p> <p>また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れる仕組みを作り、患者・住民サービスの向上を図ること。</p>
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
09	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 診療時間帯の延長、検査機械の稼働率向上、医師等の配置及び手術室の運用の改善等による手術実施体制の再整備により、診療待ち時間の短縮や検査、手術待ちの改善を図る。</p>	III	III	III		<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 待ち時間調査を実施し、現状を把握する。 待ち時間の緩和に向けて対応策を引き続き検討する。特に会計計算待ち時間を重点的に分析し、改善を図る。 医療連携を充実し、逆紹介を円滑に進めることにより外来患者数の縮減に努め、診察予約時間から30分以内の診療を目指す。 開業医の訪問活動を継続して実施し、紹介率の向上に努めるとともに、CT、MRIなどの検査依頼についても、検査枠の見直し等効率化を検討する。 各診療科の患者総合案内システム(案内表示盤)に健康情報や癒しの画像などを表示できるように検討する。 	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月に放射線・内視鏡・生理検査、10～12月に診療科待ち時間調査を実施し、検証した。 <p>【平均待ち時間の状況】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均待ち時間</td> <td>23分</td> <td>23分</td> <td>24分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※待ち時間は予約時間からの平均遅延時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度から、早朝コンシェルジュ業務を8時から2名を配置した。また、委託業者と連携して積極的な患者案内などを行った結果、患者意見箱に寄せられる窓口業務に関する苦情の割合が前年の8.3%から0%になるとともに、口頭でのクレームが大幅に減少した。 自動支払機のシステム改修を行い、入院費の支払及び過去の外来診療費の支払ができるようになった。また、窓口の混雑状況を見ながら窓口機能(受付、計算、支払)を適宜変更し、待ち時間の短縮を図った。 点在する外来駐車場を効率的に運用するため、H24年度から実施している駐車場利用者が集中する午前中に、駐車場管理の警備員の増員をし、駐車場入庫待ちによる混雑解消の継続を図った。 逆紹介を推し進めるため、各診療科の掲示板において、病診連携推進の「お知らせ」を掲示して、紹介状持参の促進と近隣のかかりつけ医との役割分担の違いについて患者への周知の継続を行った。また、開業医の訪問活動を実施し、紹介率 	項目\年度	H23	H24	H25	平均待ち時間	23分	23分	24分	III	III	
項目\年度	H23	H24	H25															
平均待ち時間	23分	23分	24分															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
						<p>向上に努めた。</p> <p>訪問件数 88 件 新規登録医数 11 件</p> <ul style="list-style-type: none"> 開業医への訪問活動を通して得た情報に基づき、昨年作成した診療情報提供書の様式の改良に努めた。 CT、MR I などの検査枠の見直しをし、さらに開業医への訪問活動に中央放射線部の職員が同行して、CT、MR I などの検査依頼を行った。 連携予約検査枠の時間延長を行った。また、骨密度検査の利用について、訪問活動で推進を行った。 <p>【CT、MR I 検査件数の比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT件数</td> <td>25,234件</td> <td>26,350件</td> <td>27,896件</td> </tr> <tr> <td>MR I件数</td> <td>7,919件</td> <td>8,646件</td> <td>8,892件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 年々患者数の増加に伴い、画像処理及び検査対応者の応援体制を充実させ、患者待ち時間の短縮を図った。 乳腺撮影と骨密度検査を個々の部屋に設置し、検査待ち時間の短縮を図った。 	区分\年度	H23	H24	H25	CT件数	25,234件	26,350件	27,896件	MR I件数	7,919件	8,646件	8,892件			
区分\年度	H23	H24	H25																		
CT件数	25,234件	26,350件	27,896件																		
MR I件数	7,919件	8,646件	8,892件																		
10	<p>(2) 院内環境の快適性向上</p> <p>病室、待合室、トイレ等を計画的に改修、補修し快適な院内環境を提供するとともに患者のプライバシー確保に配慮した院内環境を整備する。また、治療効果を高めつつ、より快適な入院生活を送れるように栄養管理及び患者の嗜好を配慮した個人対応食を充実させる。</p>	III	III	III	<p>(2) 院内環境の快適性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 順次整備を進めてきた院内の施設や設備について、維持管理に努めるとともに患者からの改善要望に対しては、その内容を精査した上で、対応する。 治療効果を高め、より快適な入院生活をおくることができるよう、引き続き献立・食材の見直しを行う。 化学療法の副作用等により喫食量の低下した患者への個別の聞き取りを実施し、食種を検討して安定した喫食量の確保を目指す。 栄養不良の疑われる患者に対し、NSTの早期介入により早期改善を目指す。 	<p>(2) 院内環境の快適性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 中病棟副玄関から東病棟時間外出入口間の歩道に屋根を整備し、雨天時等における車椅子等を使用した来院者の利便性向上を図った。 治療効果を高め、より快適な入院生活を送ることができるよう食種や、献立・食材の見直しを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ① 食思不振により喫食量の低下した患者に対応した「なごみ食」を開始し、喫食量増加に努めた。 ② 特別食で咀嚼・嚥下の低下した患者に対応した食種を追加した。 ③ 糖尿病学会編食品交換表の改訂にあわせ、糖尿病食のエネルギー比の変更を行った。 栄養不良が疑われる患者に対し、NSTの早期 	III	III													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																
							<p>介入により栄養状態の改善強化に努めた。また、喫食量の低下した患者へ食事の聞き取り調整を行い、喫食量増加に努めた。</p> <p>【喫食量の低下した患者への個別聞き取り、NST介入件数の対前年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別聞き取り</td> <td>73件/月</td> <td>96件/月</td> <td>96件/月</td> </tr> <tr> <td>NST介入</td> <td>38件/月</td> <td>41件/月</td> <td>37件/月</td> </tr> <tr> <td>NST新規介入</td> <td>11件/月</td> <td>14件/月</td> <td>16件/月</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H23	H24	H25	個別聞き取り	73件/月	96件/月	96件/月	NST介入	38件/月	41件/月	37件/月	NST新規介入	11件/月	14件/月	16件/月			
項目\年度	H23	H24	H25																							
個別聞き取り	73件/月	96件/月	96件/月																							
NST介入	38件/月	41件/月	37件/月																							
NST新規介入	11件/月	14件/月	16件/月																							
11	<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備 医療費支払いに関する各種福祉制度の活用や転院相談等の医療情報に関する相談を、より受け易くできるような相談体制の整備、充実を図る。</p>	III	III	III	<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携センター内の業務をさらに充実強化するため、毎月1回程度、医療連携担当と医療相談担当の情報交換会を開催し、相互の情報共有と問題点の洗い出しを行う。 岐阜県ソーシャルワーカー協会東濃支部研修会(情報交換会)を継続していくとともに、この研修会で得られた情報を患者や家族の医療相談に活用する。 緩和ケア病棟や精神科病棟を担当する相談員に対して、各種研修会の受講を推進し、知識と技能の強化を図りながら、より良いケアの提供を目指すとともに、転院調整や各種相談業務への対応を強化する。 がん患者サロンを活用し、がん患者及びその家族に対し相談を行う。 	<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携センター内の業務をさらに充実強化するため、毎月1回程度、医療連携担当と医療相談担当の情報交換会を開催し、相互の情報共有と問題点の洗い出しを行った。 患者や家族への医療相談の充実のため、専門知識の学習会や新施設の視察を通して相談員相互の資質向上に努めた。 岐阜県ソーシャルワーカー協会東濃支部研修会(情報交換会)参加実績6回 緩和ケア病棟担当相談員の研修会受講 4回 がん患者サロンを活用し、がん患者及びその家族に対し相談を行った。 <p>【相談件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>7,921件</td> <td>10,199件</td> <td>11,186件</td> </tr> <tr> <td>がんサロン相談件数</td> <td>131件</td> <td>168件</td> <td>140件</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H23	H24	H25	医療相談件数	7,921件	10,199件	11,186件	がんサロン相談件数	131件	168件	140件	III	III						
項目\年度	H23	H24	H25																							
医療相談件数	7,921件	10,199件	11,186件																							
がんサロン相談件数	131件	168件	140件																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
12	(4) 患者中心の医療の提供 患者の権利（安全、平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できるなど）の保証と職員への周知、医療者としての倫理観の確立に努める。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	(4) 患者中心の医療の提供 ・ 患者サポート体制カンファレンスなどを通じ患者からの要望等を把握・分析し、患者の権利の保証に努める。	(4) 患者中心の医療の提供 ・ 医療安全研修会、感染対策教育講演会の内容を録画し、全職員が研修を受講できるように欠席者には視聴させることを取り組んだ。 ・ 患者サポートカンファレンスを毎週1回開催して、医療相談、クレーム事例など患者からの意見・要望を把握し、医療安全活動と合わせて、患者の権利の保障について検討した。 開催 48回 検討 37件 ・ 患者や家族に治療に対する理解を深めてもらうことを目的に、NPO法人「医療の質に関する研究会」から図書などの寄付を受け、平成25年4月に患者図書室「ぬくた〜らいぶらり」を開設した。(平成25年度利用者9,604人)	Ⅲ	Ⅲ	安全な医療の提供、十分な説明、プライバシーの保護など、患者の尊厳と自立に向けた医療の提供のためにさらに努力されたい。												
						【カルテ開示請求件数・開示件数】															
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>34件</td> <td>62件</td> <td>65件</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>34件</td> <td>61件</td> <td>65件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	請求件数	34件	62件	65件	開示件数	34件	61件	65件			
区分\年度	H23	H24	H25																		
請求件数	34件	62件	65件																		
開示件数	34件	61件	65件																		
13	(5) インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンについて院内での方針を明文化し、全職員にその意義を周知するとともにセカンドオピニオンについて院内や病院のホームページに掲載し、医療連携室を窓口として一元的に対応する。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	(5) インフォームドコンセント・セカンドオピニオンの徹底 ・ 電子カルテに院内共通のインフォームドコンセント文書様式を作成し、説明者、説明を受けた人、立会人など全員の署名が入った記録を画面で残すシステムを整える。 ・ セカンドオピニオンについて、院内や病院のホームページに掲載し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として一元的に対応する。また、がんの種類別に医師を選任し、相談に応じる。	(5) インフォームドコンセント・セカンドオピニオンの徹底 ・ 電子カルテに院内共通のインフォームドコンセント文書様式を作成し、説明者、説明を受けた人、立会人など全員の署名が入った記録を画面で残すシステムを構築した。 ・ セカンドオピニオンについては、院内や病院のホームページに案内掲示し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として一元的に対応した。また、がんの種類別に医師を選任し、相談に応じた。	Ⅲ	Ⅲ													
						【セカンドオピニオン実施件数】															
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>11件</td> <td>12件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>74件</td> <td>69件</td> <td>54件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	外来受入	11件	12件	1件	他院紹介	74件	69件	54件			
区分\年度	H23	H24	H25																		
外来受入	11件	12件	1件																		
他院紹介	74件	69件	54件																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
14	(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を定期的で開催し、地域住民のニーズを把握し、病院運営に反映させる。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 ・ 地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、地域住民のニーズを把握する。 ・ 外来及び入院患者を対象とした患者満足度調査を引き続き実施する。 ・ 収集した患者や地域住民からのニーズについては、積極的に病院運営に反映させる。	(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 ・ 病院運営協議会を開催し、看護師確保対策、近隣の医療機関との機能分化、消費税増税による使用料及び手数料の改正などについて意見交換を行った。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">H26.3.7 議題 ・ 看護師確保対策について ・ 病院機能分化について ・ 使用料及び手数料の改正について ・ 患者図書室「ぬくた〜らいぶらり」 ・ 各種イベントの開催について</div> ・ 外来及び入院患者を対象とした患者満足度調査を平成26年1月に実施した結果、外来・入院とも評価が向上した。 外来 H24 : 74.90 → H25 : 83.70 入院 H24 : 84.93 → H25 : 88.24 ・ また、調査結果を関係部署に通知し、業務改善の検討等に活用した。	Ⅲ	Ⅲ	

1-1-3 診療体制の充実

中期目標	3-1-3 診療体制の充実 医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実や見直し、若しくは専門外来の設置や充実など診療体制の整備・充実を図ること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
15	(1) 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 患者動向や周辺医療機関の状況などに応じ、地域	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		(1) 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・ 医療連携室、医療相談室の連携を強化し、患者	(1) 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・ 地域医療支援病院として、診療所とのタイムリ	Ⅲ	Ⅲ	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
	医療支援病院として医療資源の活用を図れるように医療連携室の充実と診療体制の整備を図る。					<p>動向や地域の医療機関の状況把握・データ分析、地域連携クリニカルパスの運用、入院初期段階からの転院・退院調整等を充実する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣病院の診療体制を把握し、効率的な病病連携を推進する。 専門性、特殊性の高い専門外来の設置について診療科と協議する。 	<p>一な連携を推進するため、紹介状の返書管理を徹底し、未作成の医師に対する督促を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 多治見市民病院と救急体制や診療体制の役割分担について検討を行った。 入院初期段階からの転院・退院調整等を促進することができた。 <p>【紹介患者のうち医療連携予約の割合】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>49.8%</td> <td>51.9%</td> <td>54.0%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 総合案内やポスターの掲示、配布用パンフレットを活用し、専門外来を周知してもらうことを継続した。 各分野間の連携を強化しながら、看護専門外来の活動を継続した。 <p>【平成25年度看護専門外来の利用状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>専門外来名</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん相談外来</td> <td>120件</td> </tr> <tr> <td>リンパ浮腫相談外来</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>ストーマケア相談外来</td> <td>358件</td> </tr> <tr> <td>糖尿病フットケア外来</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>栄養支援外来</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>527件</td> </tr> </tbody> </table>	H23	H24	H25	49.8%	51.9%	54.0%	専門外来名	件数	がん相談外来	120件	リンパ浮腫相談外来	9件	ストーマケア相談外来	358件	糖尿病フットケア外来	20件	栄養支援外来	20件	計	527件			
H23	H24	H25																												
49.8%	51.9%	54.0%																												
専門外来名	件数																													
がん相談外来	120件																													
リンパ浮腫相談外来	9件																													
ストーマケア相談外来	358件																													
糖尿病フットケア外来	20件																													
栄養支援外来	20件																													
計	527件																													
16	<p>(2) 多様な専門職の積極的な活用</p> <p>高度な専門性を有する職員を外部から登用するにあたり、その専門性に適した処遇が可能となる人事給与制度を構築する。さらに高度な専門性を有する職員が定年を迎えた場合の再雇用制度も構築する。</p>	III	III	III	<p>(2) 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度に構築した人事給与制度や再雇用制度等を基に、必要な職員の確保に努める。 	<p>(2) 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院に必要とされる専門性や能力を有した職員を確保するため、診療情報管理士1名の採用と職員2名の同資格取得により、年度末で診療情報管理士は7名となった。 さらに、職員5名の診療情報管理士資格取得に向けて受講を開始したので支援をした。 定年を迎えた職員については、希望者全員を再雇用することとしているが、退職する職員が管理 	III	III																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							職で、組織にとって極めて有為な人材の場合には、非常勤の管理職員として再雇用できるよう規程を整備した。			

1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携

中期 目標	3-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 近隣の医療機関等との役割分担を明確にするとともに病病連携・病診連携を一層推進し、地域の実情に応じて東濃地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を実施すること。 さらに、退院後の療養に関する各種情報を提供することにより、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																			
17	(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上 近隣の医療機関との連携を強化し、地域医療支援病院としての要件である紹介率40%以上、逆紹介率60%以上の確保をはかるとともに、当院機器の共同利用、開放病床の普及を図る。近隣の医療機関がかかりつけ医としての役割を担うこと及び当院が二次医療病院であることを住民や地域医療機関に周知し、紹介率、逆紹介率のさらなる向上に努める。	III	IV	IV	(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上 ・ 外来待ち合いスペースに設置してある「医療連携登録医情報コーナー」を活用し、登録医の情報を提供するとともに、登録医等への訪問活動を実施する。 ・ 当院が急性期病院であることを地域の医療機関や住民に周知することにより、紹介率60%、逆紹介率70%以上の恒常的な確保を目指す。 ・ 近隣病院の診療体制を把握し、効率的な病病連携を推進する。 ・ 高度医療機器、開放病床の利用について医療連携登録医等の関係機関への訪問活動等によりPRを行い利用拡大に努める。	(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上 ・ 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化により、紹介率が向上した。 ・ 平成25年度の紹介率については、対前年比で4.3%増と大きく増え、紹介患者の件数も、1,180件の増加となった。 【紹介率・逆紹介率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>62.7%</td> <td>62.6%</td> <td>65.3%</td> </tr> <tr> <td>紹介件数</td> <td>17,215件</td> <td>18,053件</td> <td>19,233件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>83.8%</td> <td>82.8%</td> <td>80.8%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介件数</td> <td>20,842件</td> <td>21,023件</td> <td>20,698件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	紹介率	62.7%	62.6%	65.3%	紹介件数	17,215件	18,053件	19,233件	逆紹介率	83.8%	82.8%	80.8%	逆紹介件数	20,842件	21,023件	20,698件	IV	IV	紹介率・逆紹介率ともに高い水準で維持されており、近隣の医療機関との役割分担、連携強化を推進したことは高く評価できる。紹介率の維持・向上にさらに努力された。
区分\年度	H23	H24	H25																										
紹介率	62.7%	62.6%	65.3%																										
紹介件数	17,215件	18,053件	19,233件																										
逆紹介率	83.8%	82.8%	80.8%																										
逆紹介件数	20,842件	21,023件	20,698件																										
							・ CT、MRIなどの検査枠の見直しをし、さらに開業医への訪問活動に中央放射線部の職員が同行して、CT、MRIなどの検査依頼を行った。																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																							
						<ul style="list-style-type: none"> 高度医療機器予約数については、増加となった。高度医療機器の予約状況の分析を行い、さらなる利便性の向上を図り、連携病院の医師が利用しやすい環境づくりを行った。 <p>【高度医療機器利用の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>610件</td> <td>534件</td> <td>582件</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>548件</td> <td>478件</td> <td>537件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 開放病床の利用に関しても、かかりつけ医の意見を聴取しながら、さらなる利便性の向上を目指した結果、昨年度の9件から34件と増加した。 <p>【開放型病床利用の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>10件</td> <td>9件</td> <td>20件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	CT	610件	534件	582件	MR I	548件	478件	537件	区分\年度	H23	H24	H25	医科	4件	0件	14件	歯科	10件	9件	20件			
区分\年度	H23	H24	H25																														
CT	610件	534件	582件																														
MR I	548件	478件	537件																														
区分\年度	H23	H24	H25																														
医科	4件	0件	14件																														
歯科	10件	9件	20件																														
18	(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及 すでに進行中の脳卒中、大腿骨頸部骨折連携パスのさらなる改善、充実を目指す。5大がん、生活習慣などについて連携パスの作成、普及に努める。	III	III	III	<p>(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携クリニカルパス（大腿骨頸部骨折、脳卒中、5大がん、狭心症・心筋梗塞、糖尿病）の運用促進のため、地域医療連携推進協議会や医療連携講演会を通じ、医師会、行政機関等へ理解と協力を求めている。 連携パスコーディネーター等を中心に、地域連携クリニカルパスの運用促進に向け院内外に対するPR活動を重点的に行う。また、パス運用中患者のデータ管理や、適宜運用マニュアル等の見直しを行い、円滑な運用を図る。 	<p>(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及等</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域連携クリニカルパスの運用促進のため、地域医療連携推進協議会や医療連携講演会を通じ、運用促進のため医師会、行政機関等へ理解と協力を求めた。 大腿骨頸部骨折、脳卒中パスに関する運用上の問題点や要望等を把握するため、パス合同委員会を実施した。 大腿骨頸部骨折、脳卒中パス合同委員会 実施日 6/13、10/24、2/28 委員 中津川市民病院・土岐市立総合病院 <p>【地域連携パス運用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パス名\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>79件</td> <td>80件</td> <td>103件</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>321件</td> <td>305件</td> <td>280件</td> </tr> <tr> <td>5大がん</td> <td>4件</td> <td>5件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>狭心症・心筋梗塞</td> <td>10件</td> <td>84件</td> <td>98件</td> </tr> </tbody> </table>	パス名\年度	H23	H24	H25	大腿骨頸部骨折	79件	80件	103件	脳卒中	321件	305件	280件	5大がん	4件	5件	9件	狭心症・心筋梗塞	10件	84件	98件	III	III					
パス名\年度	H23	H24	H25																														
大腿骨頸部骨折	79件	80件	103件																														
脳卒中	321件	305件	280件																														
5大がん	4件	5件	9件																														
狭心症・心筋梗塞	10件	84件	98件																														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
19	(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 退院調整担当師長及び医療相談室を中心に近隣の医療機関、介護・福祉機関との連携に努める。	III	III	IV	(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 ・ 医療相談室会の定例開催などにより退院調整看護師と、医療相談員との緊密な連携を強化し、退院支援の充実を図る。 ・ 退院前に医師や地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携に努める。	(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 ・ 医療相談室会を1週間に1度行うよう定例化したことで退院調整看護師・各相談員が情報を共有し、連携を強化できた。 ・ 退院前に医師、看護師、地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携を強化するとともに、安全・安楽に在宅療養できるよう支援を行った。	IV	IV	IV	IV	合同カンファレンスの実績が順調に上がっており、地域の介護・福祉機関などとの連携が有効に機能していることは高く評価できる。	

1-1-5 重点的に取り組む医療

中期 目標	3-1-5 重点的に取り組む医療 高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるが県民が必要とする医療を、岐阜県立多治見病院として重点的に実施すること。 特に、「救命救急医療」、「急性期医療」、「母子周産期医療」、「がん診療拠点」など高度で先進的な医療を提供するとともに、「精神科医療」、「感染症医療」など政策医療を提供すること。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																													
20	<p>(1) 救命救急医療</p> <p>救命救急センターと各診療科の緊密な連携による24時間を通しての受け入れ体制をさらに充実する。</p> <p>また、ドクターカーなどを活用して先進的な地域救急システムの構築に取り組む。</p>	IV	III	III	<p>(1) 救命救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センターと各診療科の緊密な連携により、引き続き受け入れ体制の維持及びさらなる充実に努める。 ドクターカーの実績を検証し、より効率的な運用に努める。 	<p>(1) 救命救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣の医療機関との役割分担の推進、救命救急センターと各診療科の連携により、ほぼ全ての救急車を受け入れ、地域の要望に応えた。 <p>【救命救急医療受入実績（延患者数及び病床利用率）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種</th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> </tr> <tr> <th>種</th> <th>延患者数</th> <th>病床利用率</th> <th>延患者数</th> <th>病床利用率</th> <th>延患者数</th> <th>病床利用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICU</td> <td>1,491</td> <td>50.9%</td> <td>1,453</td> <td>49.8%</td> <td>1,690</td> <td>57.9%</td> </tr> <tr> <td>CCU</td> <td>816</td> <td>74.3%</td> <td>859</td> <td>78.4%</td> <td>878</td> <td>80.2%</td> </tr> <tr> <td>HCU</td> <td>2,173</td> <td>66.0%</td> <td>2,135</td> <td>65.0%</td> <td>2,089</td> <td>63.6%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,480</td> <td>61.2%</td> <td>4,447</td> <td>60.9%</td> <td>4,657</td> <td>63.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【救急車受入台数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入台数</td> <td>4,620台</td> <td>4,368台</td> <td>4,443台</td> </tr> <tr> <td>一日平均台数</td> <td>12.6台</td> <td>12.0台</td> <td>12.2台</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ドクターカーについては、担当スタッフの減少により定期運行業務を停止し緊急要請には対応を行っているが、要請は0件だった。</p> <p>【ドクターカー稼働実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出動件数</td> <td>421件</td> <td>251件</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table>	種	H23		H24		H25		種	延患者数	病床利用率	延患者数	病床利用率	延患者数	病床利用率	ICU	1,491	50.9%	1,453	49.8%	1,690	57.9%	CCU	816	74.3%	859	78.4%	878	80.2%	HCU	2,173	66.0%	2,135	65.0%	2,089	63.6%	計	4,480	61.2%	4,447	60.9%	4,657	63.8%	区分\年度	H23	H24	H25	受入台数	4,620台	4,368台	4,443台	一日平均台数	12.6台	12.0台	12.2台	項目\年度	H23	H24	H25	出動件数	421件	251件	0件	III	III	
種	H23		H24		H25																																																																		
種	延患者数	病床利用率	延患者数	病床利用率	延患者数	病床利用率																																																																	
ICU	1,491	50.9%	1,453	49.8%	1,690	57.9%																																																																	
CCU	816	74.3%	859	78.4%	878	80.2%																																																																	
HCU	2,173	66.0%	2,135	65.0%	2,089	63.6%																																																																	
計	4,480	61.2%	4,447	60.9%	4,657	63.8%																																																																	
区分\年度	H23	H24	H25																																																																				
受入台数	4,620台	4,368台	4,443台																																																																				
一日平均台数	12.6台	12.0台	12.2台																																																																				
項目\年度	H23	H24	H25																																																																				
出動件数	421件	251件	0件																																																																				
21	<p>(2) 心臓血管疾患医療</p> <p>循環器内科、心臓血管外科および救命救急センターが連携し、専門的医療を提供する体制の充実を図る。</p> <p>さらに病病連携など地域医療機関との関係をいっそう深める。</p>	III	II	III	<p>(2) 心臓血管疾患医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性期心臓血管疾患に対応するため、24時間体制で医師を待機させる。 狭心症・心筋梗塞地域連携クリニカルパスの運用の拡大、充実を図る。 	<p>(2) 心臓血管疾患医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 常勤外科医師数が減少する中、大学病院の全面的な支援を受け、必要な診療体制を維持した。 <p>【心臓血管手術症例数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虚血性心疾患</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>弁膜症</td> <td>29</td> <td>32</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>大動脈</td> <td>14</td> <td>4</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>21</td> <td>29</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	虚血性心疾患	20	12	26	弁膜症	29	32	22	大動脈	14	4	14	その他	21	29	18	III	III																																											
区分\年度	H23	H24	H25																																																																				
虚血性心疾患	20	12	26																																																																				
弁膜症	29	32	22																																																																				
大動脈	14	4	14																																																																				
その他	21	29	18																																																																				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																					
						<table border="1"> <tr> <td>合計</td> <td>84</td> <td>77</td> <td>80</td> </tr> </table> <p>【手術・検査件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心カテ</td> <td>849</td> <td>999</td> <td>989</td> </tr> <tr> <td>PCI※</td> <td>374</td> <td>387</td> <td>398</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PCI：冠動脈形成術</p> <p>【循環器系】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アブレーション</td> <td>29</td> <td>40</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>PMI※</td> <td>62</td> <td>66</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>ICD※</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※PMI：ペースメーカー埋込 ICD：植え込み型除細動器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 狭心症・心筋梗塞地域連携パスの症例数を増やし、円滑に運用した。 <p>【狭心症・心筋梗塞パス運用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パス運用件数</td> <td>84件</td> <td>98件</td> </tr> <tr> <td>登録医師数</td> <td>57名</td> <td>65名</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ パスコーディネーターによる予約管理、統計処理、患者への説明の充実等に取り組んだ結果、件数が飛躍的に増大した。 	合計	84	77	80	区分\年	H23	H24	H25	心カテ	849	999	989	PCI※	374	387	398	区分\年	H23	H24	H25	アブレーション	29	40	63	PMI※	62	66	53	ICD※	11	9	5	項目\年度	H24	H25	パス運用件数	84件	98件	登録医師数	57名	65名		
合計	84	77	80																																														
区分\年	H23	H24	H25																																														
心カテ	849	999	989																																														
PCI※	374	387	398																																														
区分\年	H23	H24	H25																																														
アブレーション	29	40	63																																														
PMI※	62	66	53																																														
ICD※	11	9	5																																														
項目\年度	H24	H25																																															
パス運用件数	84件	98件																																															
登録医師数	57名	65名																																															
22	(3) 母子周産期医療 地域周産期母子医療センターとして二次診療の24時間を通しての受け入れ体制を維持するため、スタッフの増員、労働環境の向上に努める。	III	III	III	(3) 母子周産期医療 ・ 地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24時間対応出来る体制を継続する。また、現在の診療体制を維持、充実させるために、今後も継続して医師、助産師の確保、増員に努める。	(3) 母子周産期医療 ・ 地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊娠や分娩に対し、24時間対応できる体制を維持確保した。現在の診療体制を維持、充実させるために継続して医師、助産師の確保、増員に努めた結果、新たに後期研修医1名、助産師2名を採用することができた。	III	III																																									

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																													
						【周産期母子医療センターの主な実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分娩件数</td> <td>462件</td> <td>457件</td> <td>461件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">年間 入院 者数</td> <td>NICU</td> <td>249名</td> <td>248名</td> <td>253名</td> </tr> <tr> <td>ICU</td> <td>421名</td> <td>462名</td> <td>449名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>産科</td> <td>651名</td> <td>593名</td> <td>703名</td> </tr> <tr> <td>母胎搬送件数</td> <td>61件</td> <td>58件</td> <td>75件</td> </tr> <tr> <td>新生児搬送件数</td> <td>72件</td> <td>83件</td> <td>110件</td> </tr> </tbody> </table>				区分\年度	H23	H24	H25	分娩件数	462件	457件	461件	年間 入院 者数	NICU	249名	248名	253名	ICU	421名	462名	449名		産科	651名	593名	703名	母胎搬送件数	61件	58件	75件	新生児搬送件数	72件	83件	110件		
区分\年度	H23	H24	H25																																						
分娩件数	462件	457件	461件																																						
年間 入院 者数	NICU	249名	248名	253名																																					
	ICU	421名	462名	449名																																					
	産科	651名	593名	703名																																					
母胎搬送件数	61件	58件	75件																																						
新生児搬送件数	72件	83件	110件																																						
23	<p>(4) がん診療拠点 地域がん診療拠点病院として地域の医療従事者を含めた研修に積極的に取り組む。がん連携パスなどによって地域連携を推進し、がん診療の均てん化を図る。</p>	III	III	IV	<p>(4) がん診療拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> 高精度放射線治療システム（ノバリスTx）の本格運用を開始する。 昨年度、運用を開始した県内統一のがん地域連携クリニカルパスについて、運用の拡大を図る。 がん治療に関する臨床指標（クリニカルインディケーター）を整備・充実する。 	<p>(4) がん診療拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> 高精度放射線治療システム（ノバリスTx）の担当する医療スタッフのスキルアップ支援や地域医療従事者等へのPR活動を行い、4月に本格稼働を行った。 患者数 154人（延べ 3,493件） 県内統一のがん地域連携クリニカルパスについて、地域医療機関への運用推進を行った。 院内外の講演会や研修会において、がん治療に関するテーマを積極的に取り上げ、情報発信を行った。 <p>【がん患者（入院）等の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数</td> <td>1,274人</td> <td>1,620人</td> <td>2,338人</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>1,025件</td> <td>1,064件</td> <td>1,159件</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>779件</td> <td>979件</td> <td>1,012件</td> </tr> <tr> <td>放射線施行回数</td> <td>3,177件</td> <td>3,535件</td> <td>3,115件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> パスコーディネーターによるパス対象者の抽出し、医師への照会を行いながらパス適用者拡大に取り組んだ。 がんパス件数 平成24年度 5件 平成25年度 9件 	項目\年度	H23	H24	H25	患者数	1,274人	1,620人	2,338人	手術件数	1,025件	1,064件	1,159件	化学療法件数	779件	979件	1,012件	放射線施行回数	3,177件	3,535件	3,115件	III	IV	<p>がん患者の受け入れがかなり増加するとともに、高精度放射線治療システムの本格稼働によりがん診療拠点の役割を果たし、併せてがん治療における地域医療機関との連携に努められており評価できる。</p>												
項目\年度	H23	H24	H25																																						
患者数	1,274人	1,620人	2,338人																																						
手術件数	1,025件	1,064件	1,159件																																						
化学療法件数	779件	979件	1,012件																																						
放射線施行回数	3,177件	3,535件	3,115件																																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
24	(5) 精神科医療・感染症医療 急性期総合病院に併設した特徴を生かし、救急患者や他の医療機関で対応の困難な患者の治療を行える体制の充実を図る。	III	IV	IV	(5) 精神科医療・感染症医療 ・ 結核、感染症病棟について引き続き、受け入れ体制を維持する。 ・ 精神科病棟の実績を検証し、より良い運用に努める。 ・ 精神、結核医療について院内外の理解を深めるための各種研修、啓蒙活動を行う。	(5) 精神科医療・感染症医療 ・ 結核治療中の精神病状を呈した患者の受け入れを行った。今後も引き続き体制維持をした。 ・ 行動制限最小化委員会を毎月開催し、患者の病状改善、行動制限の状況の適切性及び行動制限最小化のための検討を行った。 ・ NHK名古屋放送局の番組ナビゲーション「心を救って命を守れ ～精神科“連携医療”の可能性～」にて、当院精神科部長が出演し、総合病院の救急の現場などに精神科の医師が参加する連携医療の可能性と課題の啓蒙を行った。 ・ 当院医師及び外部講師による結核を含めた感染症対策の研修会を、院内職員及び院外医療関係機関を対象に2回実施した。 8月19・20日 参加 456人 11月19日 参加 421人 ・ ITC通信を隔月発行し、院内感染防止などの啓蒙を行った。 【患者の受け入れ実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>病床\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核、感染症</td> <td>2,358人</td> <td>1,933人</td> <td>2,283人</td> </tr> <tr> <td>精神科</td> <td>一人</td> <td>5,400人</td> <td>7,274人</td> </tr> </tbody> </table>	病床\年度	H23	H24	H25	結核、感染症	2,358人	1,933人	2,283人	精神科	一人	5,400人	7,274人	III	IV	引き続き患者の受け入れ体制を維持し、かつ実績が大きく増加しており評価できる。
病床\年度	H23	H24	H25																		
結核、感染症	2,358人	1,933人	2,283人																		
精神科	一人	5,400人	7,274人																		
25	(6) 緩和ケア 緩和ケア認定看護師、がん疼痛認定看護師を中心に、地域の医療機関と連携した緩和ケアを提供していく。	IV	III	III	(6) 緩和ケア ・ 緩和ケア病棟入院患者の積極的な受け入れに努め、入院患者の増加を図る。 ・ 在宅緩和ケア体制構築のため、講演会、研修会、勉強会を通じ、地域全体の医療従事者のスキルアップを図るとともに診療所・訪問看護ステーション・ケアマネジャーなどとの緊密な連携を推進する。	(6) 緩和ケア ・ 緩和ケア病棟入院患者の積極的な受け入れに努め、入院患者のさらなる増加を図った。 【緩和ケアの患者動向】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>3,777人</td> <td>3,981人</td> <td>4,077人</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>101人</td> <td>138人</td> <td>132人</td> </tr> </tbody> </table> ・ 在宅緩和ケア体制構築のため、講演会、研修会、勉強会を通じ、地域全体の医療従事者のスキルアップを図るとともに診療所・訪問看護ステーション・ケアマネジャーなどとの緊密な連携を推進し	区分\年度	H23	H24	H25	入院患者数	3,777人	3,981人	4,077人	外来患者数	101人	138人	132人	III	III	がん患者等の緩和ケア病棟への受け入れにより、在宅生活への継続に寄与しており、その成果は評価できる。
区分\年度	H23	H24	H25																		
入院患者数	3,777人	3,981人	4,077人																		
外来患者数	101人	138人	132人																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							た。 緩和ケア市民公開講座 6/29 緩和ケア講演会 5/16、11/14 緩和ケア研修会（医師対象） 9/7、9/8 緩和ケア勉強会 4/11、7/11、8/8、10/10、12/12、1/9、2/7、 3/13 の全8回 東部地域緩和ケア研究会 6/15、11/16			

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
 1-2 調査研究事業
 1-2-1 調査及び臨床研究等の推進

中期 目標	3-2 調査研究事業 3-2-1 調査及び臨床研究等の推進 高度・先進医療の各分野において、疫学調査や診断技法・治療法の開発、臨床応用のための研究を推進すること。 県及び東濃地域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項															
26	(1) 治験や調査研究事業に積極的に参画できるように治験管理事務、治験コーディネーター業務を推進するための人材を育成し体制の強化、受託件数の増加を図る。 平成20年度実績 1件 平成21年度見込 1件 平成26年度に向け院内の体制を強化し、受託件数の増加に努める。	III	III	III	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品開発業務受託機関（CRO）からの治験情報の収集に努めるとともに、医師に対する治験管理部門や治験コーディネーター等による支援を充実し、受託件数の増加を図る。 大学等の関係機関と連携し、各種臨床研究を実施する。 	(1) 治験管理部門が中心となり、治験募集と担当診療科調整の支援を行うため、医薬品開発業務受託機関から照会のあった案件について、該当医師に情報提供を行った。（平成25年度実績：30件） 【治験件数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>治験症例件数</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>受託研究件数</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	治験実施件数	1件	1件	1件	治験症例件数	0件	0件	13件	受託研究件数	1件	1件	1件	III	III	
区分\年度	H23	H24	H25																						
治験実施件数	1件	1件	1件																						
治験症例件数	0件	0件	13件																						
受託研究件数	1件	1件	1件																						

1-2-2 診療等の情報の活用

中期目標	3-2-2 診療等の情報の活用 電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を岐阜県立多治見病院で提供する医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
27	<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>医療情報システムに蓄積された各種医療データを分析し、医療情報として提供することにより院内の医療従事者の総合的なレベルアップを図る。</p> <p>また、その情報を地域の医療機関へ提供することにより、地域医療の活性化を図るための仕組みづくりを検討する。</p>	III	III	IV		<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ DPCに関わる係数や要件等について分析、検証、他病院との比較を行うとともに、当院の実態を把握し、係数確保及び診療機能の向上を図る。 ・ 次回診療報酬改定に向けた対策を検討するとともに、地域における当院のあり方について、将来に向けた検討の材料とする。 ・ クリニカルインディケーターや厚生労働省のDPC評価分科会において検討されている病院指標の公表を行い、診療情報の公開、透明化を図る。 ・ 診療情報管理士を養成するため、資格取得のための通信教育を新たに受講させる。通信教育の受講料等を病院が負担し、資格取得の支援を行う。 ・ 医療連携関連データ（紹介・逆紹介状況、高度医療機器・開放型病床利用状況等）について地域医療連携推進協議会等を通じ、医師会をはじめとする医療関係機関、行政機関と情報を共有し、医療機関ごとの役割の明確化や地域連携クリニカルパスの活用等により、医療連携の推進を図る。 	<p>(1) 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平均在院日数、入院収益、診療単価、手術件数などの関連について分析を行い、毎月実績を委員会へ報告をした。特に、在院日数短縮、手術件数の確保、新規入院患者の増加が重要である点について実績を報告した。また、DPC II群要件の一つである手術指数について状況分析を行い、当院状況を毎月報告した。 ・ DPC評価分科会における項目決定が遅れており、国指定項目での公表はまだしていないが、病院独自項目としてクリニカルインディケーターの公開をHP上で行った。 ・ 診療情報管理士資格取得のため、職員5名が受講の開始をしたので支援をした。なお、職員2名が同資格取得により、年度末で診療情報管理士は7名となった。 ・ 医師会、歯科医師会、薬剤師会、行政機関等の代表者を集め、4半期に1度のペースで地域医療連携推進協議会を開催し、紹介・逆紹介、高度医療機器利用、開放型病床利用等の各種データを提供し、急性期病院と開業医、他の医療機関との地域における役割、医療資源の有効活用について検討を重ねた。 <p>【地域医療連携推進協議会開催実績】 第1回(5/24)、第2回(8/29)、第3回(12/10)、第4回(3/11)</p>	IV	IV	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
28	(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 集積したエビデンスをカンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用するため、診療録管理体制の充実を図り、院内診療データを集積整理する。多職種による合同カンファレンスなどにより診療内容を共有化し、治療成績などの公表を推進する。また、一部を他の医療機関へ情報提供する。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 ・ 診療ガイドラインに基づいた治療を行なっていく。 ・ 問題症例はカンファレンスにおいて、集積したエビデンスに基づいた評価、検討を行い、よりよい治療を目指す。 ・ 学会などが主導する疾患別登録事業、がん登録事業に参加し、情報提供を行う。 ・ 年報やホームページなどで診療科の治療実績を公表する。	(2) 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 ・ ガイドラインに基づいた治療を行った。各々の症例に関してはカンファレンスで集積したエビデンスに基づき評価を行い成績向上に努めた。 ・ 学会などが主導する疾患別登録事業、がん登録事業に参加し、情報の提供を行った。 ・ 年報やホームページで診療科の治療実績を公表した。 ・ クリニカルインディケータについて、平成24年度に選定した各診療科の実績データを公表し、経年的に評価を行うようにした。	Ⅲ	Ⅲ	

1-2-3 保健医療情報の提供・発信

中期目標	3-2-3 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
29	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 一般市民向けの公開講座や医療に関する相談会を定期的に開催し、保健医療・各種福祉制度に関する情報の提供や発信を行う。 ○市民公開講座 平成20年度実績 1件 脳卒中について(参加者137名) 平成21年度見込 1件 骨粗しょう症について(参加者132名) 今後も年一回以上、より市民の関心度が高いテーマを厳選し、開催する。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・ 一般市民向けの公開講座を開催し、医療に対する知識や関心を高める。 ・ 昨年度試行的に開催した「出前講座」について、開催地区やテーマなどの拡充を検討する。 ・ 病院秋まつりにおいて、無料健康相談を開催する。 ・ 岐阜県難病団体連絡協議会の主催する難病医療福祉相談会などに、福祉相談員として参加する。	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・ 一般市民向けの公開講座を開催した。 ○市民公開講座 9/23 「女性のための健康講座 もっと更年期・乳がんを知ろう～最近の話題から～」 参加者数：約160名 ○緩和ケア市民公開講座 6/29 「今を大切に生きる～理想の終焉を見つめて～」カール・ベッカー氏(京都大学教授) 参加者数：約300名	Ⅲ	Ⅲ	一般市民向けの公開講座などの開催にあたり、東濃地域としては参加者が非常に多く評価できる。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師、看護師が講師となり「健康づくり講座」を多治見市内の公民館で12回開催した。 総参加者数： 424名 ・ 10月13日に開催した病院秋まつりにおいて来場者139名に無料健康相談と血圧測定診断を行った。 ・ 岐阜県ソーシャルワーカー協会東濃支部ソーシャルワーカー研修会（情報交換会）に参加した。（偶数月に開催） 4/20 タジミ第1病院、6/15 多治見クリニック、 8/24 金山病院、10/26 岩村いこい、 12/14 東濃厚生病院、2/15 多治見市民病院 ・ 東濃地域緩和ケア研修会を6/15、11/16に開催した。 ・ 岐阜県難病団体連絡協議会が6月3日に開催され、社会福祉士1名が出席し意見交換を行った。 			
30	<p>(2) 保健医療、健康管理等の情報提供 病院のホームページで最新の情報を発信するとともに関係機関や医療情報サイト等に情報を提供する。さらに病院広報誌では、掲載内容を厳選し、幅広い年齢層に対し最新の情報を提供する。</p>	III	III	III	<p>(2) 保健医療、健康管理等の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院広報誌「けんびょういん」を発行し、最新の医療情報を発信する。 ・ 地域情報誌等への医療情報の提供に積極的に協力する。 ・ ホームページに公開する情報を常に最新のものに更新する。 	<p>(2) 保健医療、健康管理等の情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院広報誌「けんびょういん」を7月及び1月に発行し最新の情報を発信した。 ・ 新聞、地域情報誌の医療特集記事に寄稿した。 ・ ホームページ全体のデザインを一新し、閲覧者の見やすさや利便性が向上した。また、公開内容の更新を迅速化するため、各部門内にスタッフを配置した。 ・ 研修医の活動内容を紹介する動画を作成（12本/年）し、ホームページ上で公開するなど、常に新鮮な情報を提供した。 	III	III		

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
1-3 教育研修事業
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実

中期目標	<p>3-3 教育研修事業</p> <p>3-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>研修医等の研修施設として認められた病院（臨床研修病院）として、臨床研修医及びレジデント（専門分野の研修医）の積極的な受入れを行なうこと。</p> <p>名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院や県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を活かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。</p>
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																					
31	<p>(1) 質の高い医療従事者の養成</p> <p>質の高い医療従事者養成のため、独自の臨床プログラムを開発し、その推進体制を強化する。</p>	III	III	III		<p>(1) 質の高い医療従事者の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の医療技術や知識習得のため、学会や講習会への参加に必要な費用を負担するなどの支援を行う。 外部から講師を招聘して講演会等を開催し、専門領域から一般領域まで幅広く知識を習得し、レベルアップを図る。 初期臨床研修について、臨床研修センターの機能を充実させるとともに、研修医が求める臨床研修体制に向け改善を図る。 卒後臨床研修機構による認定の取得に向けた取り組みを行う。 研修医のニーズを踏まえた「症例検討会」「各診療科部長による講義」や「早朝講義」などを定期的に開催する。 	<p>(1) 質の高い医療従事者の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院が経費を負担する等の支援を行い各種学会、講習会等への参加を奨励した。(1人年2回まで支援) 院内で外部講師を招へいし、医師等を対象とした講演会を実施した。 <p>【講演会等開催実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>講演会等名</th> <th>出席人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25. 5. 16</td> <td>緩和ケア講演会</td> <td>81人</td> </tr> <tr> <td>H25. 9. 12</td> <td>医療安全講演会</td> <td>482人</td> </tr> <tr> <td>H25. 11. 14</td> <td>緩和ケア講演会</td> <td>60人</td> </tr> <tr> <td>H25. 11. 19</td> <td>感染対策講演会</td> <td>433人</td> </tr> <tr> <td>H25. 12. 5</td> <td>職員研修会</td> <td>95人</td> </tr> <tr> <td>H26. 1. 30</td> <td>医療安全講演会</td> <td>429人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 初期臨床研修医の意見や要望を臨床研修センターで集約し、毎月の臨床研修管理委員会にて検討を行った。検討した内容を臨床プログラムに反映させることにより、研修医が求める臨床研修体制の確立に努めた。 卒後臨床研修評価機構による認定施設の取得に向けた取り組みを行った。 研修医に対し、各診療科部長による実践的な講義を行った。(毎月2診療科) 研修医を対象とした内科症例検討会を月1回開催し、研修医自らが症例提示を行った。 毎月第2金曜日に研修医を対象とした早朝勉強会を実施した。 	開催日	講演会等名	出席人数	H25. 5. 16	緩和ケア講演会	81人	H25. 9. 12	医療安全講演会	482人	H25. 11. 14	緩和ケア講演会	60人	H25. 11. 19	感染対策講演会	433人	H25. 12. 5	職員研修会	95人	H26. 1. 30	医療安全講演会	429人	III	III	
開催日	講演会等名	出席人数																													
H25. 5. 16	緩和ケア講演会	81人																													
H25. 9. 12	医療安全講演会	482人																													
H25. 11. 14	緩和ケア講演会	60人																													
H25. 11. 19	感染対策講演会	433人																													
H25. 12. 5	職員研修会	95人																													
H26. 1. 30	医療安全講演会	429人																													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
						<p>・ 研修体制の充実等により、平成26年度の医師臨床研修の定数上限である9名の確保をすることができた。</p> <p>【初期臨床研修医数】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>18人</td> <td>17人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>2人</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	医師	18人	17人	17人	歯科医師	2人	2人	2人			
区分\年度	H23	H24	H25																		
医師	18人	17人	17人																		
歯科医師	2人	2人	2人																		
32	(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等 後期研修医（レジデント）に対しては、多治見病院独自の研修と大学病院と連携した研修等、魅力あるプログラムを開発し運用推進していく。	III	III	III	<p>(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> 後期研修1年目の研修医は、研修希望診療科の選択を可能とする。 各診療科においては、専門領域の疾患の診断と治療の指導はもとより研究会、学会参加や学会発表の支援を行うなどのサポート体制を強化し、卒後臨床研修の充実を図る。 	<p>(2) 後期研修医（レジデント）に対する研修等</p> <ul style="list-style-type: none"> 後期研修1年目の研修医に対し、希望する複数の診療科にて研修を行った。 各診療科で専門領域の疾患の診断と治療はもとより、研究会、学会参加や学会発表の支援を行った。 <p>【後期研修医（レジデント）数】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>13人</td> <td>12人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	医師	13人	12人	15人	歯科医師	1人	1人	1人	III	III	
区分\年度	H23	H24	H25																		
医師	13人	12人	15人																		
歯科医師	1人	1人	1人																		

1-3-2 看護学生、救急救命士等に対する教育の実施

中期目標	3-3-2 看護学生、救急救命士等に対する教育の実施 県内に就学している看護学生の実習受入れ、救急救命士の新規養成及び再教育にともなう病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
33	(1) 医学生、看護学生の実習受入れ 看護学生に対しては実習の積極的な受け入れ、当院の人員確保に努める。 ○看護学生に対する教育 平成20年度実績 大学77名、看護学校等136名	III	III	III	<p>(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学生の受け入れについては、引続き関連大学（名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学）から積極的に受け入れる。また、合同ガイダンスにも引続き参加し、当院のPRを行っていく。 	<p>(1) 医学生、看護学生の実習受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学生については、名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学など関連大学から積極的に受け入れた。 	III	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																	
	平成21年度見込 大学73名、看護学校等176名 今後も積極的に看護師に対する実習を定期的に実施する。					<ul style="list-style-type: none"> 看護学生については、専門学校や大学から積極的に実習を受け入れる。 <table border="1"> <tr> <td>多治見看護専門学校</td> <td>1～3年生 随時 延300名程度</td> </tr> <tr> <td>県立看護大学</td> <td>1年生 基礎 (2名) 3年生 母性 (30名程度) 小児 (10名程度) 成熟期 (10名程度) 4年生 卒研 (2～3名程度)</td> </tr> <tr> <td>中京学院大学</td> <td>1年生 20名程度 2年生 35名程度</td> </tr> <tr> <td>東濃看護専門学校</td> <td>3年生 30名程度</td> </tr> </table>	多治見看護専門学校	1～3年生 随時 延300名程度	県立看護大学	1年生 基礎 (2名) 3年生 母性 (30名程度) 小児 (10名程度) 成熟期 (10名程度) 4年生 卒研 (2～3名程度)	中京学院大学	1年生 20名程度 2年生 35名程度	東濃看護専門学校	3年生 30名程度	<p>【医学生を受け入れ状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受け入れ元</th> <th>受け入れ状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名古屋大学</td> <td>実習:8名 見学:0名</td> </tr> <tr> <td>名古屋市立大学</td> <td>実習:0名 見学:12名</td> </tr> <tr> <td>岐阜大学</td> <td>実習:1名 見学:1名</td> </tr> <tr> <td>自治医科大学</td> <td>実習:0名 見学:3名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※医学生に対するPRのためポートメッセ名古屋、じゅうろくプラザで開催された合同ガイダンスに参加</p> <p>【看護学生受け入れ実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受け入れ元</th> <th>受け入れ状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多治見看護専門学校</td> <td>1年生 117名 2年生 114名 3年生 114名 計345名</td> </tr> <tr> <td>県立看護大学</td> <td>1年生 (基礎) 2名 3年生 (母性) 33名 (小児) 9名 (成熟期) 10名 卒業研修 6名 精神看護 6名 地域看護学 7名 成熟期看護 (基礎) 2名 計70名</td> </tr> <tr> <td>中京学院大学</td> <td>1年生 (基礎I) 19名 2年生 (基礎II) 24名 (成人I) 20名 3年生 (成人II) 42名 看護学総合実習 14名 計119名</td> </tr> <tr> <td>東濃看護専門学校</td> <td>3年生 40名</td> </tr> <tr> <td>下呂看護専門学校</td> <td>3年生 28名</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 静岡県立静岡がんセンター認定看護師教育課程 (緩和ケア分野) の学生2名を受け入れた。 <p>【その他 (コメディカル) の受け入れ状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受け入れ部署</th> <th>受け入れ元・受け入れ状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤部</td> <td>名城大学2名、金城学院大学4名、愛知学院大学3名 計9名</td> </tr> </tbody> </table>	受け入れ元	受け入れ状況	名古屋大学	実習:8名 見学:0名	名古屋市立大学	実習:0名 見学:12名	岐阜大学	実習:1名 見学:1名	自治医科大学	実習:0名 見学:3名	受け入れ元	受け入れ状況	多治見看護専門学校	1年生 117名 2年生 114名 3年生 114名 計345名	県立看護大学	1年生 (基礎) 2名 3年生 (母性) 33名 (小児) 9名 (成熟期) 10名 卒業研修 6名 精神看護 6名 地域看護学 7名 成熟期看護 (基礎) 2名 計70名	中京学院大学	1年生 (基礎I) 19名 2年生 (基礎II) 24名 (成人I) 20名 3年生 (成人II) 42名 看護学総合実習 14名 計119名	東濃看護専門学校	3年生 40名	下呂看護専門学校	3年生 28名	受け入れ部署	受け入れ元・受け入れ状況	薬剤部	名城大学2名、金城学院大学4名、愛知学院大学3名 計9名		
多治見看護専門学校	1～3年生 随時 延300名程度																																										
県立看護大学	1年生 基礎 (2名) 3年生 母性 (30名程度) 小児 (10名程度) 成熟期 (10名程度) 4年生 卒研 (2～3名程度)																																										
中京学院大学	1年生 20名程度 2年生 35名程度																																										
東濃看護専門学校	3年生 30名程度																																										
受け入れ元	受け入れ状況																																										
名古屋大学	実習:8名 見学:0名																																										
名古屋市立大学	実習:0名 見学:12名																																										
岐阜大学	実習:1名 見学:1名																																										
自治医科大学	実習:0名 見学:3名																																										
受け入れ元	受け入れ状況																																										
多治見看護専門学校	1年生 117名 2年生 114名 3年生 114名 計345名																																										
県立看護大学	1年生 (基礎) 2名 3年生 (母性) 33名 (小児) 9名 (成熟期) 10名 卒業研修 6名 精神看護 6名 地域看護学 7名 成熟期看護 (基礎) 2名 計70名																																										
中京学院大学	1年生 (基礎I) 19名 2年生 (基礎II) 24名 (成人I) 20名 3年生 (成人II) 42名 看護学総合実習 14名 計119名																																										
東濃看護専門学校	3年生 40名																																										
下呂看護専門学校	3年生 28名																																										
受け入れ部署	受け入れ元・受け入れ状況																																										
薬剤部	名城大学2名、金城学院大学4名、愛知学院大学3名 計9名																																										

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																									
						<table border="1"> <tr> <td>中央放射線部</td> <td>岐阜医療科学大学16名、東海医療技術専門学校2名、鈴鹿医療科学大学1名計19名</td> </tr> <tr> <td>臨床検査科</td> <td>岐阜医療科学大学10名</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション科</td> <td>日本福祉大学外13施設 計19名</td> </tr> </table> <p>【学生の実習受入状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>10人</td> <td>10人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>452人</td> <td>525人</td> <td>602人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>57人</td> <td>48人</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>519人</td> <td>583人</td> <td>668人</td> </tr> </tbody> </table>	中央放射線部	岐阜医療科学大学16名、東海医療技術専門学校2名、鈴鹿医療科学大学1名計19名	臨床検査科	岐阜医療科学大学10名	リハビリテーション科	日本福祉大学外13施設 計19名	区分\年度	H23	H24	H25	医学生	10人	10人	9人	看護学生	452人	525人	602人	コメディカル	57人	48人	57人	合計	519人	583人	668人			
中央放射線部	岐阜医療科学大学16名、東海医療技術専門学校2名、鈴鹿医療科学大学1名計19名																																		
臨床検査科	岐阜医療科学大学10名																																		
リハビリテーション科	日本福祉大学外13施設 計19名																																		
区分\年度	H23	H24	H25																																
医学生	10人	10人	9人																																
看護学生	452人	525人	602人																																
コメディカル	57人	48人	57人																																
合計	519人	583人	668人																																
34	<p>(2) 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>救急救命士に対しては、定期的な講習及び病院実習を実施し医療技術の向上を図る。</p> <p>○救急救命士に対する教育</p> <p>平成20年度実績 生涯教育実習74名、 気管挿管実習5名、薬剤投与実習1名</p> <p>平成21年度見込 生涯教育実習70名、 気管挿管実習5名、薬剤投与実習2名</p> <p>今後も積極的に救急救命士に対する実習を定期的 に実施する。</p>	III	III	III	<p>(2) 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯教育実習、就業前実習、気管挿管実習、薬剤投与実習を定期的実施し、医療技術の向上を図る。 <p>【研修実績の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生涯教育実習</td> <td>66名</td> <td>51名</td> <td>75名</td> </tr> <tr> <td>就業前実習</td> <td>3名</td> <td>4名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>気管挿管実習</td> <td>5名</td> <td>8名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>5名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【救急救命士の実習受入状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>79人</td> <td>64人</td> <td>64人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	生涯教育実習	66名	51名	75名	就業前実習	3名	4名	4名	気管挿管実習	5名	8名	3名	薬剤投与実習	5名	1名	1名	H23	H24	H25	79人	64人	64人	III	III		
区分\年度	H23	H24	H25																																
生涯教育実習	66名	51名	75名																																
就業前実習	3名	4名	4名																																
気管挿管実習	5名	8名	3名																																
薬剤投与実習	5名	1名	1名																																
H23	H24	H25																																	
79人	64人	64人																																	

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-4 地域支援事業

1-4-1 地域医療への支援

中期目標	3-4 地域支援事業
	3-4-1 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を行うこと。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																				
35	<p>(1) 地域医療水準の向上</p> <p>平成20年9月より開放型病床の登録医を募り、5床の開放型病床を稼働。医科歯科合わせて207名の登録医により、1年間に21名の共同診療を実施した。二次医療圏における連携強化を図り登録医師促進、開放型病床・高度医療機器の共同利用を推進する。</p> <p>東濃地域周産期母子医療センターとして、東濃地域の産科開業医との「お産ネットワーク」を結び、密接な連携のもと、小児科医と共にハイリスクの周産期医療を担っている。地域医療機関と共に安心して出産ができる体制づくりを推進する。</p>	III	III	III		<p>(1) 地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携推進協議会の開催や、医療連携登録医等への継続的な訪問活動を通じて、医療連携の強化、各医療機関の役割分担の明確化を図り、紹介率60%、逆紹介率70%以上の恒常的な達成を目指す。 高度医療機器や開放型病床の共同利用について継続的にPRし、利用を促進する。 病院主催の講演会、勉強会（医療連携、医療安全、感染対策、緩和ケアなど）を通じて、地域の医療水準の向上と医療機関相互の連携強化に努める。 東濃地域周産期母子医療センターとして、東濃地域の産科医との「お産ネットワーク」を結び、密接な連携のもと、小児科医と共にハイリスクの周産期医療を引き続き推進する。 在宅緩和ケアについて、地域のケアマネジャーや診療所等と連携し、事例検討会の開催や入院の調整を行う。 精神科を設置している地域医療機関と東濃精神科医療連絡協議会を定期的に開催し、精神医療に関する情報交換を積極的に行う。 	<p>(1) 地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 四半期に1度のペースで開催した地域医療連携推進協議会を通じ、医師会長をはじめとする関係者に医療連携の推進、高度医療機器、開放型病床の利用を呼びかけた。 <p>【紹介率・逆紹介率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>62.7%</td> <td>62.6%</td> <td>65.3%</td> </tr> <tr> <td>紹介案件数</td> <td>17,215件</td> <td>18,053件</td> <td>19,233件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>83.8%</td> <td>82.8%</td> <td>80.8%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介案件数</td> <td>20,842件</td> <td>21,023件</td> <td>20,698件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【高度医療機器の共同利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>610件</td> <td>534件</td> <td>582件</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>548件</td> <td>478件</td> <td>537件</td> </tr> <tr> <td>RI</td> <td>169件</td> <td>110件</td> <td>124件</td> </tr> <tr> <td>PET</td> <td>92件</td> <td>91件</td> <td>78件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【開放型病床利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>10件</td> <td>9件</td> <td>20件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 医療連携講演会、症例検討会等を開催し、地域医療の質の向上に努めた。 <p>【医療連携講演会】 2/27 「誰でもどこでもできるがん治療の地域医療連携」</p> <p>【緩和ケア研修会】 9/7、8 【緩和ケア講演会】 5/16、11/14 【緩和ケア勉強会】 4/11、7/11、8/8、10/10、12/12、1/9、2/6、3/13</p>	区分\年度	H23	H24	H25	紹介率	62.7%	62.6%	65.3%	紹介案件数	17,215件	18,053件	19,233件	逆紹介率	83.8%	82.8%	80.8%	逆紹介案件数	20,842件	21,023件	20,698件	機器名\年度	H23	H24	H25	CT	610件	534件	582件	MR I	548件	478件	537件	RI	169件	110件	124件	PET	92件	91件	78件	区分\年度	H23	H24	H25	医科	4件	0件	14件	歯科	10件	9件	20件	III	III	
区分\年度	H23	H24	H25																																																											
紹介率	62.7%	62.6%	65.3%																																																											
紹介案件数	17,215件	18,053件	19,233件																																																											
逆紹介率	83.8%	82.8%	80.8%																																																											
逆紹介案件数	20,842件	21,023件	20,698件																																																											
機器名\年度	H23	H24	H25																																																											
CT	610件	534件	582件																																																											
MR I	548件	478件	537件																																																											
RI	169件	110件	124件																																																											
PET	92件	91件	78件																																																											
区分\年度	H23	H24	H25																																																											
医科	4件	0件	14件																																																											
歯科	10件	9件	20件																																																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項							
							<p>【地域連携パス合同委員会】 6/13、10/24、2/28</p> <ul style="list-style-type: none"> 東濃地域周産期母子医療センターとして、東濃地域の産科医との「お産ネットワーク」を結び、ハイリスクの周産期医療に対し、24時間365日体制で安心して出産ができる環境の維持に努めた。 在宅療養相談調整をするため、地域の在宅支援機関と連携し、退院前に支援機関を交えた合同カンファレンスを実施した。 <p>【合同カンファレンス開催件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>231件</td> <td>351件</td> <td>431件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 精神科を設置している地域医療機関と東濃精神科医療連絡協議会を定期的に開催し、精神医療に関する情報交換を積極的に行った。（内容：事例検討、講演会、情報交換会・在宅への退院支援） 開催日 5/11, 10/5, 10/6, 2/8 	H23	H24	H25	231件	351件	431件				
H23	H24	H25															
231件	351件	431件															
36	<p>(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 へき地医療は、国民健康保険上矢作病院へ、医師を一人派遣しており、研修医も、月単位に一人ずつ、派遣している。今後も継続し、支援を推進する。</p>	IV	II	III	<p>(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険上矢作病院に対し、定期的な医師の派遣支援を継続する。 へき地医療に関しては、岐阜県へき地医療支援機構の求めに応じ、随時医師の派遣を行う。 	<p>(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険上矢作病院へ医師を週1日（当直業務を含む）延べ53人、研修医を1ヶ月に1名ずつ4ヶ月間派遣をした。 岐阜県へき地医療支援機構の求めに応じ、国民健康保険蛭川診療所へ、5日間、各1名の医師を派遣した。 中津川市民病院からの依頼に応じ、10/1から毎週木曜日に、医師（脳神経外科）1名（2名で隔週交代）を派遣した。 <p>【他の医療機関への人的支援の状況】（延べ日数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先 医療機関名</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国保上矢作病院</td> <td>100日</td> <td>114日</td> <td>106日</td> </tr> </tbody> </table>	派遣先 医療機関名	H23	H24	H25	国保上矢作病院	100日	114日	106日	IV	IV	<p>中津川市民病院への人的支援を行うなど、東濃地域のへき地医療に貢献している。</p>
派遣先 医療機関名	H23	H24	H25														
国保上矢作病院	100日	114日	106日														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						国保蛭川診療所	-日	4日	5日			
						中津川市民病院	-日	-日	24日			

1-4-2 社会的な要請への協力

中期 目標	3-4-2 社会的な要請への協力 岐阜県立多治見病院が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に積極的な協力を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																		
37	医療に関する鑑定や調査、講師派遣などの社会的な要請に対する協力を行う。	III	III	III		<ul style="list-style-type: none"> 医療に関する鑑定や調査、講師派遣などの社会的な要請に対する協力を行う。 医療系専門学校・大学等の要請に応じて講師等の派遣や学生の実習受け入れを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門分野への講演・技術指導の要請に応じ近隣の病院・施設へ医師や認定看護師等を講師として派遣した。 多治見看護専門学校に医師、看護師、コメディカルを非常勤講師として派遣した。 県内外の大学や教育機関等へ、認定看護師、コメディカルを講師として派遣した。 <p>【講師等派遣の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>125人</td> <td>124人</td> <td>129人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>47人</td> <td>64人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>49人</td> <td>17人</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>221人</td> <td>205人</td> <td>180人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	医師	125人	124人	129人	看護師	47人	64人	35人	コメディカル	49人	17人	16人	合計	221人	205人	180人	III	III	
区分\年度	H23	H24	H25																											
医師	125人	124人	129人																											
看護師	47人	64人	35人																											
コメディカル	49人	17人	16人																											
合計	221人	205人	180人																											

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
 1-5 災害等発生時における医療救護
 1-5-1 医療救護活動の拠点機能

中期目標	3-5 災害等発生時における医療救護
	3-5-1 医療救護活動の拠点機能 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受け入れや医療スタッフの現地派遣など本県或いは東濃地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項												
38	<p>(1) (医療救護活動拠点機能確保、訓練実施)</p> <p>岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、岐阜県或いは東濃地域の医療救護活動拠点機能を担う。</p> <p>そのため、日頃から実践的な災害医療訓練を定期的に行い医療救護活動の拠点となる病院としての機能を維持し災害発生時には患者の受け入れなど求められる機能を発揮する。</p>	III	III	III		<p>(1) 岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、本県或いは東濃地域の医療救護活動拠点機能を担う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県災害拠点病院として大規模災害時にも迅速に対応できるよう救命救急センターを中心に受け入れ態勢をとる。また、必要な設備、備品等を整備する。 火災等の院内災害を想定した防災訓練を実施する。 大規模災害を想定した訓練を実施し、医療救護活動拠点としての機能を検証する。 被災時においても診療録データが失われないよう、院外でバックアップするシステムの構築に取り組む。 	<p>(1) 岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、本県或いは東濃地域の医療救護活動拠点機能を担う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県災害拠点病院として大規模災害時にも迅速に対応できるよう救命救急センターを中心に受け入れできるよう必要な設備、備品等を整備した。 <p>【主な整備品】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災倉庫</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>被ばく線量計</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>防護服</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>化学防護服</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>除染エアータント</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 火災を想定した避難訓練を実施した。 (11/27、2/28の2回) 大規模災害を想定した災害実働訓練を実施した。 (9/26) 大規模災害時等におけるトリアージの患者数などの状況が把握できるように、システムの構築をした。 大規模災害時等においても診療録データが失われないよう、多治見市以外の場所にリアルタイムにバックアップするシステムが構築した。 	品目	数量	防災倉庫	1	被ばく線量計	12	防護服	110	化学防護服	20	除染エアータント	1	III	III	
品目	数量																					
防災倉庫	1																					
被ばく線量計	12																					
防護服	110																					
化学防護服	20																					
除染エアータント	1																					

1-5-2 他県等の医療救護への協力

中期目標	3-5-2 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																	
39	(1) 大規模災害発生時のDMATの派遣 大規模災害時に厚生労働省医政局からの要請に常時対応出来る体制をとり、災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣する。	IV	IV	III		(1) 大規模災害発生時の災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣 ・ 厚生労働省医政局の要請により災害派遣医療チーム（DMAT）を常時派遣できる体制をとる。	(1) 大規模災害発生時の災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣 ・ 災害派遣医療チーム（DMAT）に必要な設備、備品を整備し、大規模災害時にも迅速に対応できるよう2チーム体制を維持した。	III	III																		
40	(2) DMATの質と向上 大規模災害に対応できるよう災害派遣医療チーム（DMAT）は、国及び中部地区で定期的に開催される講習会に参加し、質の向上と維持を図る。	III	III	III		(2) DMATの質と向上 ・ 厚生労働省、中部地区、岐阜県などで開催する訓練に参加し、質の向上と維持を図る。	(2) 災害派遣医療チーム（DMAT）の質の向上と維持 ・ 厚生労働省、中部地区、岐阜県などで開催する訓練に参加し、質の向上と維持を図った。 【主なDMAT活動訓練実績】	III	III																		
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施期間</th> <th>訓練内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25. 6. 22, 23</td> <td>技能維持研修</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>H25. 8. 31</td> <td>広域医療搬送訓練</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>H25. 10. 8, 9</td> <td>中部ブロックロジスティクス研修</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>H25. 12. 21</td> <td>原子力災害医療対応総合研修</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>H26. 2. 10</td> <td>美濃地域SCU資機材公開会</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table>	実施期間	訓練内容	参加人数	H25. 6. 22, 23	技能維持研修	5名	H25. 8. 31	広域医療搬送訓練	5名	H25. 10. 8, 9	中部ブロックロジスティクス研修	2名	H25. 12. 21	原子力災害医療対応総合研修	1名	H26. 2. 10	美濃地域SCU資機材公開会	3名		
実施期間	訓練内容	参加人数																									
H25. 6. 22, 23	技能維持研修	5名																									
H25. 8. 31	広域医療搬送訓練	5名																									
H25. 10. 8, 9	中部ブロックロジスティクス研修	2名																									
H25. 12. 21	原子力災害医療対応総合研修	1名																									
H26. 2. 10	美濃地域SCU資機材公開会	3名																									

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

2-1 効率的な業務運営体制の確立

2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立

中期目標	4 業務運営の改善及び効率化に関する事項
	4-1 効率的な業務運営体制の確立
	4-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立
	医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、法人の理事長のリーダーシップが発揮できる簡素で効果的な組織体制を確立すること。 ITの活用とアウトソーシングを進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
41	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 理事長のリーダーシップが発揮できる効率的・効果的な組織体制を構築する。	III	III	III		(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 ・ 法人化後に経営基盤の強化のため、経営分析、医療連携、診療報酬を担当する部門を中心に整備した組織体制について、より効率的に機能するよう充実を図る。	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築 ・ 医療環境の変化や住民の医療需要に的確に対応するため、経営分析や予測、各種広報の展開など、経営基盤の強化を図った。	III	III	
42	(2) 各種業務のIT化の推進 病院独自のITインフラを再整備することで、情報到達に確実性を持たせ、ペーパーレス化、迅速化を図る。	III	III	III		(2) 各種業務のIT化の推進 ・ 職員向けのIT研修を実施し、各種業務のIT化に順応できるよう個々の職員のスキルアップを図る。 ・ 電子カルテを中心とする医療総合情報システムのプログラム改修を行い、ユーザーの操作性を向上させる。	(2) 各種業務のIT化の推進 ・ Excel、Word、Powerpoint の他、職員のスキルアップを図る研修会を実施した。 研修会 11回実施 ・ 医療用文書作成支援システムを構築し、各種文書作成にかかる医師の負担軽減を図った。 ・ 現場の要望を汲み、医療総合情報システムのプログラム改修を行い、ユーザーの操作性を向上させた。 ・ 大規模災害時等におけるトリアージの患者数などの状況が把握できるように、システムを構築した。 ・ 大規模災害時等においても診療録データが失われないよう、多治見市以外の場所にリアルタイムにバックアップするシステムを構築した。 ・ ME機器の定期点検状況が容易に把握できるよう、ME機器の管理するシステムを構築した。	III	III	
43	(3) アウトソーシング導入による合理化 定期的な業務についてはアウトソーシングを導入することにより各種事務合理化を進める。	III	III	III		(3) アウトソーシング導入による合理化 ・ 昨年度に引き続き物流管理システム（SPD）について業務内容の分析を進め、システム更新も含めた業務の効率化、軽減化を検討する。 ・ 業務の性質や費用対効果等を勘案のうえ、アウトソーシングの導入を検討し、業務のスリム化を	(3) アウトソーシング導入による合理化 ・ 日常業務の改善、在庫管理体制の確立のため、新たなSPD運用管理の委託業者をプロポーザルにより選定をし、運用の準備をした。 ・ 外来駐車場の有料化に伴い発生する駐車場の料金収入の範囲内で、駐車場の管理運営業務全般を	III	III	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						図る。	外部委託し、運営経費を削減した。 ・ 日々の入院患者に関するDPCコーディングの確認、検証業務については委託業者へ全面的に委託することとし、職員負担の軽減を図った。			
44	(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 事務局職員の病院運営企画にかかわる能力向上の支援を行ったり、病院経営に寄与すると認められる職員が定年を迎えた場合の再雇用制度の積極的な活用を図り、経営企画機能を強化することで、経営効率の高い業務執行体制を確立する。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 ・ 経営分析、医療連携、診療報酬を担当する各部門へ診療情報管理士を配置し、診療情報を活かした業務執行体制の充実を図る。 ・ 再雇用制度等を推進し、有能な人材の確保に努める。 ・ 診療情報の分析、活用による経営企画能力の向上のため、職員の診療情報管理士資格の取得を促進、支援する。 ・ 病院運営にかかわる各種研修会等へ幹部職員を始めとして積極的に参加する。	(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立 ・ 経営分析、医療連携、診療報酬を担当する各部門へ診療情報管理士を配置し、診療報酬内容を検証するなど診療情報を活かした業務執行体制の充実を図った。 ・ 定年を迎えた職員については、希望者全員を再雇用することとしているが、退職する職員が管理職で、組織にとって極めて有為な人材の場合には、非常勤の管理職員として再雇用できるよう規程を整備した。 ・ 診療報酬請求事務に関する専門性向上のため、職員の診療情報管理士資格取得を支援し、平成25年度末に職員2名が認定試験に合格し、同資格の取得をした。また、平成25年度末までに5名が受講を開始しており、今後順次増員予定となっている。 ・ 病院運営にかかわる病院長・幹部職員セミナー等へ幹部職員を始めとして積極的に参加した。	Ⅲ	Ⅲ		
45	(5) 時差出勤制度の導入 女性医師を対象に時差出勤制度を導入することで、女性医師のより積極的な病院運営参画を促す。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	(5) 時差出勤制度の導入 ・ 女性医師を中心とした希望者に対し、時差出勤や短時間勤務などの利用を進め、勤務の負担軽減を図ることで、ワークライフバランスの推進を図る。	(5) 時差出勤制度の導入 ・ 女性医師3名に短時間勤務制度(週20時間、30時間)を適用し、ワークライフバランスを支援し、女性医師の離職防止を図った。	Ⅲ	Ⅲ	柔軟な勤務体制を導入するなど女性医師の支援について取り組んでいるが、さらなる努力を期待したい。	

2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用

中期目標	<p>4-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用</p> <p>医療需要の変化に迅速に対応し、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。</p>
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
46	<p>(1) 弾力的運用の実施</p> <p>医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した、診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。</p>	III	III	III		<p>(1) 弾力的運用の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度から開始したリハビリテーション科の土曜診療を継続し、治療効果が期待できるリハビリテーションを行う。 ・ 夜間専従看護師の配置、短時間労働制の実施職場復帰支援プログラムの実施などにより、職員の負担軽減や柔軟な職員配置を行う。 	<p>(1) 弾力的運用の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リハビリテーションの土曜日診療により、急性期・週末入院患者のリハビリが充実し、平均在院日数の短縮などにつながった。 ・ 看護体制の強化のため以下の取り組みを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ①夜勤専従看護師の配置 救命救急センター及び救急外来にかかる夜勤専従看護師（非常勤職員）の制度化を行い、救命救急センターに1名を採用した。 また、正規職員においても、職員の意見を十分に汲み取りながら勤務表の作成を行った。 ②短時間就労制の実施 働き手のニーズに合わせ週1回、1日1時間以上の勤務を提案し、週20時間未満の勤務をしているパート職員が10名在職している。 ③職場復帰支援プログラムの実施 復帰に不安を抱えている離職者のための託児付き復帰支援制度をにより、新たに14名の非常勤看護師を採用した。（平成25年度末時点 91名） ・ 地域医療連携推進協議会を年4回開催し、地域内の医療関係者等から意見聴取を行った。また、登録医を中心に訪問活動を実施し、医療ニーズの把握に努めた。 <p>【地域医療連携推進協議会開催実績】 第1回（5/24）、第2回（8/29）、第3回（12/10）、第4回（3/11）</p>	III	III	様々な勤務体系や柔軟な職員配置などにより、細かい労務管理ができています。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項					
							【登録医等への訪問実績】 88施設								
47	(2) 効果的な体制による医療の提供 常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用など、効果的な体制による医療の提供に努める。	III	IV	IV	(2) 効果的な体制による医療の提供 ・ 医師事務作業補助者の業務の質の向上を図るとともに、「25:1」補助体制加算の早期導入を進める。 ・ 連携パスコーディネーターによる地域連携クリニックパスの普及や運用の推進を継続する。	(2) 効果的な体制による医療の提供 ・ 医師の負担軽減を図るため、医師事務作業補助者を3名増員し、15診療科の運用から20診療科に拡大するとともに、医師から要望の強かった病棟にも1名を配置した。補助体制加算は昨年度の30:1から25:1となった。 また、病棟事務補助者を11名配置し、看護師の業務負担軽減を図った。 【医師事務作業補助者配置部署】	IV	IV	医師事務作業補助者の増員により、補助体制加算で25:1を達成できたことは評価できる。						
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 内科 整形外科 中央手術室 外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 歯科口腔外科 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 内科 整形外科 中央手術室 外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 歯科口腔外科 耳鼻いんこう科 小児科 皮膚科 中央放射線科 精神科 神経内科 眼科 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 内科 神経内科 整形外科 形成外科 中央手術室 外科 皮膚科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 耳鼻いんこう科 歯科口腔外科 小児科 新生児内科 中央放射線科 精神科 眼科 緩和ケア内科 麻酔科 救急科 </td> </tr> </tbody> </table>	H23	H24	H25	<ul style="list-style-type: none"> 内科 整形外科 中央手術室 外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 歯科口腔外科 	<ul style="list-style-type: none"> 内科 整形外科 中央手術室 外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 歯科口腔外科 耳鼻いんこう科 小児科 皮膚科 中央放射線科 精神科 神経内科 眼科 	<ul style="list-style-type: none"> 内科 神経内科 整形外科 形成外科 中央手術室 外科 皮膚科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 耳鼻いんこう科 歯科口腔外科 小児科 新生児内科 中央放射線科 精神科 眼科 緩和ケア内科 麻酔科 救急科 		
H23	H24	H25													
<ul style="list-style-type: none"> 内科 整形外科 中央手術室 外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 歯科口腔外科 	<ul style="list-style-type: none"> 内科 整形外科 中央手術室 外科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 歯科口腔外科 耳鼻いんこう科 小児科 皮膚科 中央放射線科 精神科 神経内科 眼科 	<ul style="list-style-type: none"> 内科 神経内科 整形外科 形成外科 中央手術室 外科 皮膚科 脳神経外科 泌尿器科 産婦人科 耳鼻いんこう科 歯科口腔外科 小児科 新生児内科 中央放射線科 精神科 眼科 緩和ケア内科 麻酔科 救急科 													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																							
						<p>【医師・看護師事務作業補助者数】(各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者 (医療クラーク)</td> <td>16人</td> <td>24人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>病棟事務補助者 (看護クラーク)</td> <td>9人</td> <td>11人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25人</td> <td>35人</td> <td>39人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 連携パスコーディネーターによる地域連携クリニカルパスの普及や運用の推進を継続した。パス運用件数が全体的に増えた。</p>	区分\年度	H23	H24	H25	医師事務作業補助者 (医療クラーク)	16人	24人	28人	病棟事務補助者 (看護クラーク)	9人	11人	11人	合計	25人	35人	39人																											
区分\年度	H23	H24	H25																																														
医師事務作業補助者 (医療クラーク)	16人	24人	28人																																														
病棟事務補助者 (看護クラーク)	9人	11人	11人																																														
合計	25人	35人	39人																																														
48	(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置 3法人間の人事交流により(人材活用のネットワーク化) 適正な職員配置を確保する。	III	III	III	(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置 (人材活用のネットワーク化) ・ 適正な職員確保及び配置を図るため、地方独立行政法人岐阜県総合医療センター及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院との間で、人事交流調整を引き続き進める。特に看護師、薬剤師、といった医療技術職員を相互に派遣し、各地域における医療サービスの水準を維持する。	(3) 3法人間の人事交流による適正な職員配置 (人材活用のネットワーク化) 【職員の他法人への出向状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> 【他法人職員の受入状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> (派遣元、職種別内訳) <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣元</th> <th>人数及び職員の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県総合医療センター</td> <td>薬剤師 1名</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	医師	0人	0人	0人	コメディカル	3人	1人	0人	合計	3人	1人	0人	区分\年度	H23	H24	H25	医師	0人	0人	0人	看護師	2人	1人	0人	コメディカル	3人	1人	1人	合計	5人	2人	1人	派遣元	人数及び職員の内訳	岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名	III	III	
区分\年度	H23	H24	H25																																														
医師	0人	0人	0人																																														
コメディカル	3人	1人	0人																																														
合計	3人	1人	0人																																														
区分\年度	H23	H24	H25																																														
医師	0人	0人	0人																																														
看護師	2人	1人	0人																																														
コメディカル	3人	1人	1人																																														
合計	5人	2人	1人																																														
派遣元	人数及び職員の内訳																																																
岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名																																																

2-1-3 人事評価システムの構築

中期目標	4-1-3 人事評価システムの構築 職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験や勤務実績等を反映させた公平で客観的な人事評価制度の構築を図り、中期目標の期間の最終年度までに試行運用を行うこと。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
49	職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的な人事評価制度を構築する。また、中期目標の期間内に当該制度の試行を実施する。	III	III	III		職員の勤務意欲を高めるため、職員の実績や能力を職員の給与に反映する公正で客観的な人事評価制度の構築に向けて、コンサルタントの活用も含め、具体的な検討に着手する。	職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の人材育成、人事管理に活用するため、コンサルタントへ業務委託し、当院独自の制度の構築・試行準備を行った。	III	III	

2-1-4 事務部門の専門性の向上

中期目標	4-1-4 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
50	病院特有の事務に精通し、法人の事務及び経営の中心となるプロパー職員を計画的に確保するため、企業会計、庁舎管理、医事会計、電子カルテシステム等病院内各分野に精通した事務局職員を計画的に採用し育成する。 また、診療報酬事務、病院経営等の専門研修を実施し事務部門の総合的な専門性の向上を図る。	III	III	III		<ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員研修を始めとし、事務職員としての総合的な資質を高めつつ、専門性の向上を図る。 診療情報の分析、活用による経営企画能力の向上のため、職員の診療情報管理士資格の取得を促進、支援する。 経営管理や人事・労務管理等に関する研修会への参加を積極的に進める。 プロパー職員の採用を計画的に進めるとともに、企業会計等に精通した外部人材の確保に引き続き取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回は新規採用職員に対し、研修を実施した。 (主な内容) ・医療関連法規 ・病院の経営状況 ・文書作成、管理の基礎 ・危機管理 診療情報管理士は、平成25年度末に新たに職員2名が資格取得した。平成25年度末までに新たに5名が受講を開始しており、今後順次増員予定となっている。 講習会などにより、査定、保険請求等の知識向上に努めた。 経営管理や人事・労務管理等に関する研修会への参加を積極的に進めた。 <p>【研修参加実績】</p>	III	III	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																	
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>研修会名</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25. 8. 1, 2</td> <td>病院長・幹事職員セミナー</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>H25. 9. 20</td> <td>病院経営管理研修会</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>H25. 10. 25</td> <td>若手医療スタッフの働き方・休み方セミナー</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>H25. 12. 20</td> <td>病院経営戦略セミナー</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>H25. 7. 19他</td> <td>DPC勉強会</td> <td>9名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 民間企業等での実務経験を持つ者も対象に採用試験を実施した。</p> <p>【事務職員の状況】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>20人</td> <td>26人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>15人</td> <td>11人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35人</td> <td>37人</td> <td>36人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	研修会名	参加者数	H25. 8. 1, 2	病院長・幹事職員セミナー	2名	H25. 9. 20	病院経営管理研修会	1名	H25. 10. 25	若手医療スタッフの働き方・休み方セミナー	2名	H25. 12. 20	病院経営戦略セミナー	2名	H25. 7. 19他	DPC勉強会	9名	区分\年度	H23	H24	H25	プロパー職員	20人	26人	28人	県派遣職員	15人	11人	8人	合計	35人	37人	36人			
開催日	研修会名	参加者数																																									
H25. 8. 1, 2	病院長・幹事職員セミナー	2名																																									
H25. 9. 20	病院経営管理研修会	1名																																									
H25. 10. 25	若手医療スタッフの働き方・休み方セミナー	2名																																									
H25. 12. 20	病院経営戦略セミナー	2名																																									
H25. 7. 19他	DPC勉強会	9名																																									
区分\年度	H23	H24	H25																																								
プロパー職員	20人	26人	28人																																								
県派遣職員	15人	11人	8人																																								
合計	35人	37人	36人																																								

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組
 2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善
 2-2-1 多様な契約手法の導入

中期 目標	4-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善 4-2-1 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図るとともに、費用の節減に努めること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
51	民間病院の取り組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法導入により、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図る。具体的には、病院関連委託業務（医療事務、給食、警備、清掃、薬剤、診療材料、寝具、洗濯等）について、「複数年契約」、「包括的業務委託」、「委託業務の集約化」などにより事務合理化及び費用の節減を図る。	IV	III	III	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き「病院経営に関するコンサルタント業務」を活用し、効率的な契約手法や費用について検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「病院経営に関するコンサルタント業務」を活用し、医療機器購入価格や医薬品、診療材料契約単価について精査し価格交渉を実施した。 委託業務について、仕様書内容の見直しや複数年契約検討するなど、契約金額を業者との交渉により抑えることを図った。 	III	III			

2-2-2 収入の確保

中期目標	4-2-2 収入の確保 地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																															
52	<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 平成21年4月1日から本格的に運用の始まったDPC (Diagnosis Procedure Combination の略、診断群分類) は、①医療の質の向上と情報開示、②医療の標準化と透明化、③標準的な治療と価格を患者に明らかにする等を目的に、「1入院あたり人的・物的に医療資源を最も投入した傷病名を」を一つだけ選択し、その傷病名に最も適切な診断群分類のコーディングにより、入院の1日当たりの包括点数が決定され、この包括点数には、主な検査や投薬、処置料が包括されている。</p> <p>よって、医療資源を最も投入した傷病名の選択、診断群分類のコーディング等、効果的な運用及び推進を図るとともに、効率的な検査、投薬等の推進を図り、出来高の活用も図っていく。また、診療科に制限されない効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用を図る。</p>	III	III	III	<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在院日数の短縮、手術件数の確保など、収入確保に向けた方策について分析を進めるとともに、地域の病床状況などについても検証する。 ・ 診療報酬内容の検証を継続して実施するとともに、職員によるコーディングチェックを進める。 ・ 係数分析とあわせ、新規評価項目等について早期に情報を把握し、係数確保、向上に努める。 	<p>(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用、DPCの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平均在院日数、入院収益、診療単価、手術件数などの関連について分析を行い、毎月実績を委員会へ報告をした。 ・ 診療報酬担当副院長、職員による診療報酬内容の検証を月2回開催した。診療情報管理士による再検証結果を含めて、DPC コーディングの検証を実施している。 検証結果 H25 221件 ・ 平成26年度報酬改定に向けて、中医協総会などから逐次情報を入手し、DPC 係数の方向性、制度改定の要点について、毎月の診療報酬委員会において報告・検討を行った。また、新規項目などに対し、4月から算定できるように取り組んだ。 <p>【病床管理状況の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病床稼働率 (%)</td> <td>77.2</td> <td>79.7</td> <td>79.8</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数 (全体)</td> <td>13.2</td> <td>12.9</td> <td>12.6</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数 (一般)</td> <td>12.9</td> <td>12.4</td> <td>11.9</td> </tr> <tr> <td>一日当たり外来患者数</td> <td>1,158</td> <td>1,184</td> <td>1,220</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">患者1当たり診療額 (円)</td> <td>入院 (全体)</td> <td>55,134</td> <td>56,928</td> <td>58,710</td> </tr> <tr> <td>入院 (一般)</td> <td>55,469</td> <td>58,331</td> <td>60,926</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>12,689</td> <td>13,412</td> <td>14,250</td> </tr> </tbody> </table>	項目\年度	H23	H24	H25	病床稼働率 (%)	77.2	79.7	79.8	平均在院日数 (全体)	13.2	12.9	12.6	平均在院日数 (一般)	12.9	12.4	11.9	一日当たり外来患者数	1,158	1,184	1,220	患者1当たり診療額 (円)	入院 (全体)	55,134	56,928	58,710	入院 (一般)	55,469	58,331	60,926	外来	12,689	13,412	14,250	III	III
項目\年度	H23	H24	H25																																						
病床稼働率 (%)	77.2	79.7	79.8																																						
平均在院日数 (全体)	13.2	12.9	12.6																																						
平均在院日数 (一般)	12.9	12.4	11.9																																						
一日当たり外来患者数	1,158	1,184	1,220																																						
患者1当たり診療額 (円)	入院 (全体)	55,134	56,928	58,710																																					
	入院 (一般)	55,469	58,331	60,926																																					
	外来	12,689	13,412	14,250																																					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																	
53	(2) 未収金の発生防止対策等 診療報酬の請求漏れ防止を徹底するために内査の強化を図るとともに、未収金発生時での防止を徹底するために相談窓口の拡充を図る。	III	III	III	(2) 未収金の発生防止対策等 <ul style="list-style-type: none"> 入院時説明などを徹底して発生防止に努めるとともに、未収患者の来院時における督促を継続的に行う。 生活困窮患者については、入院中からの早期の対応を進める。 弁護士事務所への回収委託を継続し、未収金の効率的な回収に努める。 	(2) 未収金の発生防止対策等 <ul style="list-style-type: none"> 未収金担当者として、社会福祉士の資格を持つ職員を配置し、公費負担制度などの説明による支援を行いながら、未集金の未然防止に努めた。 入院案内センターにおいて、未収金発生防止のために次の取り組みを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ○個室利用にかかる患者の意思を確認する書類の作成 ○入院案内時の患者からの聞き取りにより、生活困窮者や未集金のある患者について、医療相談室や未収金担当者と連携し、入院初期の段階から公費負担制度の活用や支払計画の作成を行い、未収金の発生防止に努めた。 弁護士事務所への回収委託を活用し効果的な回収業務を行った。 平成25年度実績：1,553千円 夏期と冬期に計画的に滞納者の自宅を訪問し、未集金の回収を図った。 平成25年度実績：2,362千円 <p>【未収金の発生状況】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H23</th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>682</td> <td>39,909</td> <td>650</td> <td>34,988</td> <td>721</td> <td>39,898</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>1,888</td> <td>75,823</td> <td>2,051</td> <td>93,821</td> <td>2,109</td> <td>69,312</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,570</td> <td>115,732</td> <td>2,701</td> <td>128,809</td> <td>2,830</td> <td>109,210</td> </tr> </tbody> </table>		H23		H24		H25		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	過年分	682	39,909	650	34,988	721	39,898	現年分	1,888	75,823	2,051	93,821	2,109	69,312	合計	2,570	115,732	2,701	128,809	2,830	109,210	III	III	
	H23		H24		H25																																						
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																					
過年分	682	39,909	650	34,988	721	39,898																																					
現年分	1,888	75,823	2,051	93,821	2,109	69,312																																					
合計	2,570	115,732	2,701	128,809	2,830	109,210																																					

2-2-3 費用の削減

中期目標	4-2-3 費用の削減 薬剤・診療材料の購入方法の見直しや在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の採用などにより費用の節減に努めること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																			
54	(1) 薬品・診療材料の在庫管理を適正に行い院内在庫を必要最小限に抑える。また、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の積極的採用・他病院の契約単価の調査などにより薬品費・診療材料費の節減を図る。	II	III	III	<p>「病院経営に関するコンサルタント業務」の活用により材料費の節減を図るとともに、効率的な在庫管理体制の確立を検討する。</p> <p>後発医薬品(ジェネリック医薬品)の積極的採用などにより、薬品及び診療材料にかかる費用の節減を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日常業務の改善、在庫管理体制の確立のため、新たなSPD運用管理の委託業者をプロポーザルにより選定をし、運用の準備をした。 各種委員会をとおして、薬品や診療材料の節減を図った。 薬品について、医療コンサルタントのアドバイスを受けて業者交渉を行い、業者間の競争促進及び費用の節減を図ることができた。 <p>【ジェネリック医薬品の使用比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>13.01%</td> <td>29.21%</td> <td>23.98%</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>9.71%</td> <td>10.14%</td> <td>8.58%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医薬収益に対する材料費比率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>14.20%</td> <td>14.08%</td> <td>15.41%</td> </tr> <tr> <td>診療料費</td> <td>9.40%</td> <td>9.00%</td> <td>9.76%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【薬品費及び診療材料費】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>1,968,884千円</td> <td>2,071,624千円</td> <td>2,372,117千円</td> </tr> <tr> <td>診療料費</td> <td>1,293,587千円</td> <td>1,316,480千円</td> <td>1,501,479千円</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	品目ベース	13.01%	29.21%	23.98%	金額ベース	9.71%	10.14%	8.58%	区分\年度	H23	H24	H25	薬品費	14.20%	14.08%	15.41%	診療料費	9.40%	9.00%	9.76%	区分\年度	H23	H24	H25	薬品費	1,968,884千円	2,071,624千円	2,372,117千円	診療料費	1,293,587千円	1,316,480千円	1,501,479千円	III	III	
区分\年度	H23	H24	H25																																										
品目ベース	13.01%	29.21%	23.98%																																										
金額ベース	9.71%	10.14%	8.58%																																										
区分\年度	H23	H24	H25																																										
薬品費	14.20%	14.08%	15.41%																																										
診療料費	9.40%	9.00%	9.76%																																										
区分\年度	H23	H24	H25																																										
薬品費	1,968,884千円	2,071,624千円	2,372,117千円																																										
診療料費	1,293,587千円	1,316,480千円	1,501,479千円																																										

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期 目標	<p>5 財務内容の改善に関する事項</p> <p>5-1 経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、中期目標の期間の最終年度までに経常収支比率100%以上を達成すること。</p> <p>5-2 職員給与費対医薬収益比率 職員給与費対医薬収益比率については、同規模の全国自治体病院の黒字病院の当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標の期間の最終年度までに達成すること。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																																																																																																											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																																																											
55	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。	IV	III	IV	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとすべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。	医療連携の強化による患者数の増加や診療単価の増、平均在院日数の短縮などによる医業収益の増とともに価格交渉や契約方法の見直しなどの経費節減の努力によって、経常収支比率は104.0%、職員給与費対医業収益比率は49.6%と計画を達成した。 【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>102.0%</td> <td>105.8%</td> <td>104.0%</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>51.5%</td> <td>49.7%</td> <td>49.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	経常収支	102.0%	105.8%	104.0%	職員給与費	51.5%	49.7%	49.6%	IV	IV	経常収支比率が100%を大きく上回っているなど、年度計画を達成した経営努力は評価できる。																																																																																																																																
区分\年度	H23	H24	H25																																																																																																																																																		
経常収支	102.0%	105.8%	104.0%																																																																																																																																																		
職員給与費	51.5%	49.7%	49.6%																																																																																																																																																		
3-1 予算 (平成22年度～平成26年度) (単位:百万円)						3-1 予算 (平成25年度) (単位:百万円)	3-1 決算 (平成25年度) (単位:百万円)																																																																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>70,064</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>65,820</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>3,861</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>383</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>538</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>3,719</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>1,493</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>2,226</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>74,321</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>61,624</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>59,682</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>32,189</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>15,890</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>11,213</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>390</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>1,942</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	金 額	収入		営業収益	70,064	医業収益	65,820	運営費負担金収益	3,861	その他営業収益	383	営業外収益	538	運営費負担金収益	443	その他営業外収益	95	資本収入	3,719	長期借入金	1,493	運営費負担金	2,226	その他資本収入	0	その他の収入	0	計	74,321	支出		営業費用	61,624	医業費用	59,682	給与費	32,189	材料費	15,890	経費	11,213	研究研修費	390	一般管理費	1,942					<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>15,827</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>14,851</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>872</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>582</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>342</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>16,521</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>14,114</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>13,779</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>7,401</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>3,724</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>2,576</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>335</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	収入		営業収益	15,827	医業収益	14,851	運営費負担金収益	872	その他営業収益	104	営業外収益	112	運営費負担金収益	72	その他営業外収益	40	資本収入	582	長期借入金	85	運営費負担金	342	その他資本収入	155	その他の収入	0	計	16,521	支出		営業費用	14,114	医業費用	13,779	給与費	7,401	材料費	3,724	経費	2,576	研究研修費	78	一般管理費	335	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>16,642</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>15,676</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>852</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>535</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>315</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>17,287</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>14,343</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>14,021</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>7,253</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>4,212</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>2,504</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>322</td> </tr> </tbody> </table>			区 分	金 額	収入		営業収益	16,642	医業収益	15,676	運営費負担金収益	852	その他営業収益	114	営業外収益	110	運営費負担金収益	70	その他営業外収益	40	資本収入	535	長期借入金	85	運営費負担金	315	その他資本収入	135	その他の収入	0	計	17,287	支出		営業費用	14,343	医業費用	14,021	給与費	7,253	材料費	4,212	経費	2,504	研究研修費	52	一般管理費	322		
区 分	金 額																																																																																																																																																				
収入																																																																																																																																																					
営業収益	70,064																																																																																																																																																				
医業収益	65,820																																																																																																																																																				
運営費負担金収益	3,861																																																																																																																																																				
その他営業収益	383																																																																																																																																																				
営業外収益	538																																																																																																																																																				
運営費負担金収益	443																																																																																																																																																				
その他営業外収益	95																																																																																																																																																				
資本収入	3,719																																																																																																																																																				
長期借入金	1,493																																																																																																																																																				
運営費負担金	2,226																																																																																																																																																				
その他資本収入	0																																																																																																																																																				
その他の収入	0																																																																																																																																																				
計	74,321																																																																																																																																																				
支出																																																																																																																																																					
営業費用	61,624																																																																																																																																																				
医業費用	59,682																																																																																																																																																				
給与費	32,189																																																																																																																																																				
材料費	15,890																																																																																																																																																				
経費	11,213																																																																																																																																																				
研究研修費	390																																																																																																																																																				
一般管理費	1,942																																																																																																																																																				
区 分	金 額																																																																																																																																																				
収入																																																																																																																																																					
営業収益	15,827																																																																																																																																																				
医業収益	14,851																																																																																																																																																				
運営費負担金収益	872																																																																																																																																																				
その他営業収益	104																																																																																																																																																				
営業外収益	112																																																																																																																																																				
運営費負担金収益	72																																																																																																																																																				
その他営業外収益	40																																																																																																																																																				
資本収入	582																																																																																																																																																				
長期借入金	85																																																																																																																																																				
運営費負担金	342																																																																																																																																																				
その他資本収入	155																																																																																																																																																				
その他の収入	0																																																																																																																																																				
計	16,521																																																																																																																																																				
支出																																																																																																																																																					
営業費用	14,114																																																																																																																																																				
医業費用	13,779																																																																																																																																																				
給与費	7,401																																																																																																																																																				
材料費	3,724																																																																																																																																																				
経費	2,576																																																																																																																																																				
研究研修費	78																																																																																																																																																				
一般管理費	335																																																																																																																																																				
区 分	金 額																																																																																																																																																				
収入																																																																																																																																																					
営業収益	16,642																																																																																																																																																				
医業収益	15,676																																																																																																																																																				
運営費負担金収益	852																																																																																																																																																				
その他営業収益	114																																																																																																																																																				
営業外収益	110																																																																																																																																																				
運営費負担金収益	70																																																																																																																																																				
その他営業外収益	40																																																																																																																																																				
資本収入	535																																																																																																																																																				
長期借入金	85																																																																																																																																																				
運営費負担金	315																																																																																																																																																				
その他資本収入	135																																																																																																																																																				
その他の収入	0																																																																																																																																																				
計	17,287																																																																																																																																																				
支出																																																																																																																																																					
営業費用	14,343																																																																																																																																																				
医業費用	14,021																																																																																																																																																				
給与費	7,253																																																																																																																																																				
材料費	4,212																																																																																																																																																				
経費	2,504																																																																																																																																																				
研究研修費	52																																																																																																																																																				
一般管理費	322																																																																																																																																																				

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H25年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証		
			H22	H23	H24	H25					業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果
		給与費	1,457				給与費	241		給与費	245		
		経費	485				経費	94		経費	77		
		営業外費用	722				営業外費用	122		営業外費用	121		
		資本支出	8,654				資本支出	1,449		資本支出	1,483		
		建設改良費	4,972				建設改良費	812		建設改良費	746		
		償還金	3,624				償還金	609		償還金	729		
		その他資本支出	58				その他資本支出	28		その他資本支出	8		
		その他の支出	165				その他の支出	10		その他の支出	52		
		計	71,165				計	15,695		計	15,999		
	(注記 略)						(注記 略)			(注記 略)			
	3-2 収支計画 (平成22年度～平成26年度) (単位:百万円)						3-2 収支計画 (平成25年度) (単位:百万円)			3-2 収支計画 (平成25年度) (単位:百万円)			
		区分	金額				区分	金額		区分	金額		
		収益の部	70,530				収益の部	15,931		収益の部	16,474		
		営業収益	69,997				営業収益	15,813		営業収益	16,359		
		医業収益	65,728				医業収益	14,831		医業収益	15,389		
		運営費負担金収益	3,861				運営費負担金収益	872		運営費負担金収益	852		
		資産見返負債戻入	30				資産見返負債戻入	6		資産見返負債戻入	6		
		その他営業収益	378				その他営業収益	104		その他営業収益	112		
		営業外収益	533				営業外収益	118		営業外収益	115		
		運営費負担金収益	443				運営費負担金収益	72		運営費負担金収益	70		
		その他営業外収益	90				その他営業外収益	46		その他営業外収益	45		
		臨時利益	0				臨時利益	0		臨時利益	0		
		費用の部	70,559				費用の部	15,598		費用の部	15,898		
		営業費用	67,758				営業費用	15,090		営業費用	15,382		
		医業費用	65,914				医業費用	14,725		医業費用	15,020		
		給与費	33,854				給与費	7,390		給与費	7,375		
		材料費	15,150				材料費	3,554		材料費	3,979		
		経費	11,061				経費	2,472		経費	2,438		
		減価償却費	5,474				減価償却費	1,235		減価償却費	1,177		
		研究研修費	375				研究研修費	74		研究研修費	51		
		一般管理費	1,844				一般管理費	365		一般管理費	362		
		給与費	1,349				給与費	249		給与費	262		
		減価償却費	50				減価償却費	26		減価償却費	25		
		経費	445				経費	90		経費	75		
		営業外費用	2,636				営業外費用	446		営業外費用	464		
		臨時損失	115				臨時損失	52		臨時損失	52		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																																																																																											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																																																																										
	<table border="1"> <tr><td>予備費</td><td>50</td></tr> <tr><td>純利益</td><td>-29</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr> <tr><td>総利益</td><td>-29</td></tr> </table>	予備費	50	純利益	-29	目的積立金取崩額	0	総利益	-29				<table border="1"> <tr><td>予備費</td><td>10</td></tr> <tr><td>純利益</td><td>333</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr> <tr><td>総利益</td><td>333</td></tr> </table>	予備費	10	純利益	333	目的積立金取崩額	0	総利益	333		<table border="1"> <tr><td>予備費</td><td>0</td></tr> <tr><td>純利益</td><td>576</td></tr> <tr><td>目的積立金取崩額</td><td>0</td></tr> <tr><td>総利益</td><td>576</td></tr> </table>	予備費	0	純利益	576	目的積立金取崩額	0	総利益	576																																																																																																																																					
予備費	50																																																																																																																																																																			
純利益	-29																																																																																																																																																																			
目的積立金取崩額	0																																																																																																																																																																			
総利益	-29																																																																																																																																																																			
予備費	10																																																																																																																																																																			
純利益	333																																																																																																																																																																			
目的積立金取崩額	0																																																																																																																																																																			
総利益	333																																																																																																																																																																			
予備費	0																																																																																																																																																																			
純利益	576																																																																																																																																																																			
目的積立金取崩額	0																																																																																																																																																																			
総利益	576																																																																																																																																																																			
	<p>3-3 資金計画 (平成22年度～平成26年度) (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>76,702</td></tr> <tr><td>業務活動による収入</td><td>70,602</td></tr> <tr><td> 診療業務による収入</td><td>65,820</td></tr> <tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>4,304</td></tr> <tr><td> その他の業務活動による収入</td><td>478</td></tr> <tr><td>投資活動による収入</td><td>2,226</td></tr> <tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>2,226</td></tr> <tr><td> その他の投資活動による収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>1,493</td></tr> <tr><td> 長期借入による収入</td><td>1,493</td></tr> <tr><td> その他の財務活動による収入</td><td>0</td></tr> <tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>2,381</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>76,702</td></tr> <tr><td>業務活動による支出</td><td>62,468</td></tr> <tr><td> 給与費支出</td><td>33,647</td></tr> <tr><td> 材料費支出</td><td>15,890</td></tr> <tr><td> その他の業務活動による支出</td><td>12,931</td></tr> <tr><td>投資活動による支出</td><td>5,029</td></tr> <tr><td> 有形固定資産の取得による支出</td><td>4,972</td></tr> <tr><td> その他の投資活動による支出</td><td>57</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>3,624</td></tr> <tr><td> 長期借入金の返済による支出</td><td>332</td></tr> <tr><td> 積立金償還による支出</td><td>3,292</td></tr> <tr><td> その他の財務活動による支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>5,581</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	資金収入	76,702	業務活動による収入	70,602	診療業務による収入	65,820	運営費負担金による収入	4,304	その他の業務活動による収入	478	投資活動による収入	2,226	運営費負担金による収入	2,226	その他の投資活動による収入	0	財務活動による収入	1,493	長期借入による収入	1,493	その他の財務活動による収入	0	前事業年度からの繰越金	2,381	資金支出	76,702	業務活動による支出	62,468	給与費支出	33,647	材料費支出	15,890	その他の業務活動による支出	12,931	投資活動による支出	5,029	有形固定資産の取得による支出	4,972	その他の投資活動による支出	57	財務活動による支出	3,624	長期借入金の返済による支出	332	積立金償還による支出	3,292	その他の財務活動による支出	0	翌事業年度への繰越金	5,581			<p>3-3 資金計画 (平成25年度) (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>22,349</td></tr> <tr><td>業務活動による収入</td><td>15,939</td></tr> <tr><td> 診療業務による収入</td><td>14,851</td></tr> <tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>944</td></tr> <tr><td> その他の業務活動による収入</td><td>144</td></tr> <tr><td>投資活動による収入</td><td>194</td></tr> <tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>39</td></tr> <tr><td> その他の投資活動による収入</td><td>155</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>388</td></tr> <tr><td> 長期借入による収入</td><td>85</td></tr> <tr><td> その他の財務活動による収入</td><td>303</td></tr> <tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>5,828</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>22,349</td></tr> <tr><td>業務活動による支出</td><td>14,236</td></tr> <tr><td> 給与費支出</td><td>7,642</td></tr> <tr><td> 材料費支出</td><td>3,724</td></tr> <tr><td> その他の業務活動による支出</td><td>2,870</td></tr> <tr><td>投資活動による支出</td><td>840</td></tr> <tr><td> 有形固定資産の取得による支出</td><td>813</td></tr> <tr><td> その他の投資活動による支出</td><td>27</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>609</td></tr> <tr><td> 長期借入金の返済による支出</td><td>34</td></tr> <tr><td> 積立金償還による支出</td><td>516</td></tr> <tr><td> その他の財務活動による支出</td><td>59</td></tr> <tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>6,664</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	資金収入	22,349	業務活動による収入	15,939	診療業務による収入	14,851	運営費負担金による収入	944	その他の業務活動による収入	144	投資活動による収入	194	運営費負担金による収入	39	その他の投資活動による収入	155	財務活動による収入	388	長期借入による収入	85	その他の財務活動による収入	303	前事業年度からの繰越金	5,828	資金支出	22,349	業務活動による支出	14,236	給与費支出	7,642	材料費支出	3,724	その他の業務活動による支出	2,870	投資活動による支出	840	有形固定資産の取得による支出	813	その他の投資活動による支出	27	財務活動による支出	609	長期借入金の返済による支出	34	積立金償還による支出	516	その他の財務活動による支出	59	翌事業年度への繰越金	6,664		<p>3-3 資金計画 (平成25年度) (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>資金収入</td><td>22,720</td></tr> <tr><td>業務活動による収入</td><td>16,558</td></tr> <tr><td> 診療業務による収入</td><td>15,402</td></tr> <tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>887</td></tr> <tr><td> その他の業務活動による収入</td><td>269</td></tr> <tr><td>投資活動による収入</td><td>87</td></tr> <tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>39</td></tr> <tr><td> その他の投資活動による収入</td><td>48</td></tr> <tr><td>財務活動による収入</td><td>395</td></tr> <tr><td> 長期借入による収入</td><td>85</td></tr> <tr><td> その他の財務活動による収入</td><td>310</td></tr> <tr><td>前事業年度からの繰越金</td><td>5,680</td></tr> <tr><td>資金支出</td><td>22,720</td></tr> <tr><td>業務活動による支出</td><td>14,468</td></tr> <tr><td> 給与費支出</td><td>6,271</td></tr> <tr><td> 材料費支出</td><td>4,103</td></tr> <tr><td> その他の業務活動による支出</td><td>4,094</td></tr> <tr><td>投資活動による支出</td><td>640</td></tr> <tr><td> 有形固定資産の取得による支出</td><td>621</td></tr> <tr><td> その他の投資活動による支出</td><td>19</td></tr> <tr><td>財務活動による支出</td><td>729</td></tr> <tr><td> 長期借入金の返済による支出</td><td>154</td></tr> <tr><td> 積立金償還による支出</td><td>516</td></tr> <tr><td> その他の財務活動による支出</td><td>59</td></tr> <tr><td>翌事業年度への繰越金</td><td>6,883</td></tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	資金収入	22,720	業務活動による収入	16,558	診療業務による収入	15,402	運営費負担金による収入	887	その他の業務活動による収入	269	投資活動による収入	87	運営費負担金による収入	39	その他の投資活動による収入	48	財務活動による収入	395	長期借入による収入	85	その他の財務活動による収入	310	前事業年度からの繰越金	5,680	資金支出	22,720	業務活動による支出	14,468	給与費支出	6,271	材料費支出	4,103	その他の業務活動による支出	4,094	投資活動による支出	640	有形固定資産の取得による支出	621	その他の投資活動による支出	19	財務活動による支出	729	長期借入金の返済による支出	154	積立金償還による支出	516	その他の財務活動による支出	59	翌事業年度への繰越金	6,883		
区 分	金 額																																																																																																																																																																			
資金収入	76,702																																																																																																																																																																			
業務活動による収入	70,602																																																																																																																																																																			
診療業務による収入	65,820																																																																																																																																																																			
運営費負担金による収入	4,304																																																																																																																																																																			
その他の業務活動による収入	478																																																																																																																																																																			
投資活動による収入	2,226																																																																																																																																																																			
運営費負担金による収入	2,226																																																																																																																																																																			
その他の投資活動による収入	0																																																																																																																																																																			
財務活動による収入	1,493																																																																																																																																																																			
長期借入による収入	1,493																																																																																																																																																																			
その他の財務活動による収入	0																																																																																																																																																																			
前事業年度からの繰越金	2,381																																																																																																																																																																			
資金支出	76,702																																																																																																																																																																			
業務活動による支出	62,468																																																																																																																																																																			
給与費支出	33,647																																																																																																																																																																			
材料費支出	15,890																																																																																																																																																																			
その他の業務活動による支出	12,931																																																																																																																																																																			
投資活動による支出	5,029																																																																																																																																																																			
有形固定資産の取得による支出	4,972																																																																																																																																																																			
その他の投資活動による支出	57																																																																																																																																																																			
財務活動による支出	3,624																																																																																																																																																																			
長期借入金の返済による支出	332																																																																																																																																																																			
積立金償還による支出	3,292																																																																																																																																																																			
その他の財務活動による支出	0																																																																																																																																																																			
翌事業年度への繰越金	5,581																																																																																																																																																																			
区 分	金 額																																																																																																																																																																			
資金収入	22,349																																																																																																																																																																			
業務活動による収入	15,939																																																																																																																																																																			
診療業務による収入	14,851																																																																																																																																																																			
運営費負担金による収入	944																																																																																																																																																																			
その他の業務活動による収入	144																																																																																																																																																																			
投資活動による収入	194																																																																																																																																																																			
運営費負担金による収入	39																																																																																																																																																																			
その他の投資活動による収入	155																																																																																																																																																																			
財務活動による収入	388																																																																																																																																																																			
長期借入による収入	85																																																																																																																																																																			
その他の財務活動による収入	303																																																																																																																																																																			
前事業年度からの繰越金	5,828																																																																																																																																																																			
資金支出	22,349																																																																																																																																																																			
業務活動による支出	14,236																																																																																																																																																																			
給与費支出	7,642																																																																																																																																																																			
材料費支出	3,724																																																																																																																																																																			
その他の業務活動による支出	2,870																																																																																																																																																																			
投資活動による支出	840																																																																																																																																																																			
有形固定資産の取得による支出	813																																																																																																																																																																			
その他の投資活動による支出	27																																																																																																																																																																			
財務活動による支出	609																																																																																																																																																																			
長期借入金の返済による支出	34																																																																																																																																																																			
積立金償還による支出	516																																																																																																																																																																			
その他の財務活動による支出	59																																																																																																																																																																			
翌事業年度への繰越金	6,664																																																																																																																																																																			
区 分	金 額																																																																																																																																																																			
資金収入	22,720																																																																																																																																																																			
業務活動による収入	16,558																																																																																																																																																																			
診療業務による収入	15,402																																																																																																																																																																			
運営費負担金による収入	887																																																																																																																																																																			
その他の業務活動による収入	269																																																																																																																																																																			
投資活動による収入	87																																																																																																																																																																			
運営費負担金による収入	39																																																																																																																																																																			
その他の投資活動による収入	48																																																																																																																																																																			
財務活動による収入	395																																																																																																																																																																			
長期借入による収入	85																																																																																																																																																																			
その他の財務活動による収入	310																																																																																																																																																																			
前事業年度からの繰越金	5,680																																																																																																																																																																			
資金支出	22,720																																																																																																																																																																			
業務活動による支出	14,468																																																																																																																																																																			
給与費支出	6,271																																																																																																																																																																			
材料費支出	4,103																																																																																																																																																																			
その他の業務活動による支出	4,094																																																																																																																																																																			
投資活動による支出	640																																																																																																																																																																			
有形固定資産の取得による支出	621																																																																																																																																																																			
その他の投資活動による支出	19																																																																																																																																																																			
財務活動による支出	729																																																																																																																																																																			
長期借入金の返済による支出	154																																																																																																																																																																			
積立金償還による支出	516																																																																																																																																																																			
その他の財務活動による支出	59																																																																																																																																																																			
翌事業年度への繰越金	6,883																																																																																																																																																																			

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	4-1 限度額 10億円 4-2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応	/	/	/	/	4-1 限度額 10億円 4-2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応	4-1 限度額 10億円 4-2 想定される短期借入金の発生理由 実績なし	/	/	

5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	なし	/	/	/	/	なし	なし	/	/	

6 剰余金の使途

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	/	/	/	/	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	なし	/	/	

7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

7-1 職員の就労環境の向上

中期 目標	6 その他業務運営に関する重要事項 6-1 職員の就労環境の向上 職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。 さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かし、不足している医療従事者（特に看護師）を必要な人数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																											
56	(1) 医療従事者の業務負担を軽減し、本来の業務に専念できるようにするため、必要な人数を迅速に確保することで、病院全体の勤務環境の改善を図る。	III	III	III	(1) 医師の事務負担軽減のため、医師事務作業補助者の追加配置を推進する。	(1) 各診療科の医師の要望に応じ、医師事務作業補助者を24名から27名に増員し、さらに医師から要望の強かった病棟にも1名を配置して医師の過密業務の軽減を図り、補助体制加算は昨年度の30:1から25:1となった。 【医師事務作業補助者等の状況】(各年度末時点)	III	III																													
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師数</td> <td>99人</td> <td>105人</td> <td>112人</td> </tr> <tr> <td>常勤歯科医師数</td> <td>4人</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>422人</td> <td>433人</td> <td>437人</td> </tr> <tr> <td>常勤准看護師数</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>医師事務作業補助者 (医療ケア)</td> <td>16人</td> <td>24人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>病棟事務補助者 (看護ケア)</td> <td>9人</td> <td>11人</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	常勤医師数	99人	105人	112人	常勤歯科医師数	4人	5人	5人	常勤看護師数	422人	433人	437人	常勤准看護師数	4人	4人	4人	医師事務作業補助者 (医療ケア)	16人	24人	28人	病棟事務補助者 (看護ケア)	9人	11人	11人		
区分\年度	H23	H24	H25																																		
常勤医師数	99人	105人	112人																																		
常勤歯科医師数	4人	5人	5人																																		
常勤看護師数	422人	433人	437人																																		
常勤准看護師数	4人	4人	4人																																		
医師事務作業補助者 (医療ケア)	16人	24人	28人																																		
病棟事務補助者 (看護ケア)	9人	11人	11人																																		
57	(2) 育児中の女性職員のために院内保育所の受け入れ体制を強化する。具体的には、保育対象年齢の引き上げ、病後児保育の追加を検討する。また、保育対象年齢引き上げに伴う受け入れ人数増加に対応するため、既存保育施設の増築及び一部改修を進める。さらに時差出勤制度の導入により、仕事と家庭の両立を図る。	III	III	III	(2) 院内保育所での夜間保育を開始する。	(2) 平成25年4月から民間会社に保育業務を委託し、夜間保育及び休日保育を開始するとともに、病児保育の利便性を向上させた。 【夜間保育】 ・毎週金曜日に対応可能 ・平成25年度実績12回 【休日保育】 ・12月31日～1月3日を除く全ての日に対応可能 ・平成25年度実績92回	IV	IV	夜間保育や休日保育を開始するなど、院内保育所の充実はたいへん評価できる。																												

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																			
						<p>【院内保育所の運営状況】 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>44人</td> <td>37人</td> <td>36人 (うち夜間利用1人)</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>9人</td> <td>8人</td> <td>委託先にて必要人数を配置</td> </tr> </tbody> </table> <p>【病児保育利用実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延人数</td> <td>12人</td> <td>20人</td> <td>84人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	入所者数	44人	37人	36人 (うち夜間利用1人)	保育士数	9人	8人	委託先にて必要人数を配置	区分\年度	H23	H24	H25	延人数	12人	20人	84人			
区分\年度	H23	H24	H25																										
入所者数	44人	37人	36人 (うち夜間利用1人)																										
保育士数	9人	8人	委託先にて必要人数を配置																										
区分\年度	H23	H24	H25																										
延人数	12人	20人	84人																										
58	(3) 看護師については、7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努め、必要な職員数を確保し、看護師の就労環境の整備に努める。	III	III	III	<p>(3) 7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努め、必要な職員数を確保し、看護師の就労環境の整備に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職ガイダンスについて、より看護師確保に効果的なガイダンスを選定し参加するとともに、学校訪問等を実施する。 ・ 継続的にインターネットや、新聞紙面への広告掲載、折込チラシ等、各種広報媒体を活用した募集活動を実施する。 ・ 高校生を対象としたふれあい看護体験を実施する。 ・ 仕事と家庭を両立させるため、育児部分休業の活用を推進する。 	<p>(3) 7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努め、必要な職員数を確保し、看護師の就労環境の整備に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 就職ガイダンス (一般) SMS、中日ドレップ、マイナビ ・ 就職ガイダンス (学内開催) 中京学院大学、岐阜県立看護大学 ・ 広報媒体を利用した募集活動 新聞広告 : 東濃新報6、8、10、1月号 : 中日新聞9/10(火)、9/11(水) 折込チラシ: 中日新聞朝刊9/15(日) ・ ふれあい看護体験 7月26日開催 参加高校生 50人 <p>【育児部分休業制度活用人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5人</td> <td>7人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>	H23	H24	H25	5人	7人	12人	III	III	7対1看護の導入に向けて引き続き努力されたい。														
H23	H24	H25																											
5人	7人	12人																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
59	(4) 全職員を対象とした健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実にも努める。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		<p>(4) 全職員を対象とした健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実にも努め、法定健診（定期健康診断、人間ドック）、任意検査等（各種抗体検査、各種予防接種）を実施する。</p> <p>○メンタルヘルス対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 各職場における精神疾患の未然防止のため、管理職及び新規採用職員を対象とした研修会や、全職員を対象とした講演会を実施する。 <p>○定期健康診断及び特殊健康診断</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働安全衛生法に基づき、非常勤職員を含む全職員に対して実施する。 要精密検査等の指示のあった者に対して、文書により受診勧告を行う。 <p>○人間ドック</p> <ul style="list-style-type: none"> 30歳代偶数年齢及び40歳以上の正職員のうち希望者に対して実施する。 <p>○肝炎検査</p> <ul style="list-style-type: none"> 肝炎に暴露する可能性のある職場に勤務する職員に対して実施する。 陰性者に対するワクチン接種に努める。 	<p>(4) 全職員を対象とした健康管理対策及びメンタルヘルス対策の充実にも努め、法定健診（定期健康診断、人間ドック）、任意検査等（各種抗体検査、各種予防接種）を実施した。</p> <p>○メンタルヘルス対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 各職場における精神疾患未然防止のため、管理職職員に対して6月にメンタルヘルスケア講演会を実施した。 新規採用職員に対しては、研修の一環として当院精神科部長による講義を実施した。 メンタルヘルスケア相談窓口にメールアドレスを追加し、より利用しやすい体制を整えた。 <p>【メンタルヘルスケア相談件数】</p> <p>平成23年度 12件 平成24年度 13件 平成25年度 17件</p> <p>○定期健康診断及び特殊健康診断</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働安全衛生法に基づき、5月に非常勤職員を含む全職員に対して実施した。 未受診者に対しては12月に追加実施を行った。 要精密検査等の指示のあった者に対して、文書により受診勧告を行った。 <p>○人間ドック</p> <ul style="list-style-type: none"> 30歳代偶数年齢及び40歳以上の共済組合加入職員のうち希望者に対し実施した。 受診費用については、当院と共済組合から助成を行った。 平成25年度は対象者400名のうち331名が受診した。 <p>○肝炎検査</p> <ul style="list-style-type: none"> 肝炎に暴露する可能性のある職場に勤務する職員に対して実施した。 陰性者には病院経費によりワクチン接種を実施した。 	Ⅲ	Ⅲ	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						<ul style="list-style-type: none"> ○小児4種抗体検査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規採用者及び転入者に対して実施する。 ○結核検診 <ul style="list-style-type: none"> ・ 結核菌に暴露する可能性のある職場に勤務する職員に対して結核検診として、定期健康診断と併せて年2回の胸部X線撮影を行うとともに年1回の血液検査を行う。 ・ 40歳以上の職員を対象に血液検査を実施し、各個人の基準値となる数値の把握を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染管理看護師の積極的な働きかけにより、陰性者のうち新規採用者の100%、既存職員の70%に対しワクチン接種を実施した。 ○小児4種抗体検査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規採用者及び転入者に対して実施した。 ・ 陰性者に対しワクチン接種を実施し、12月に再度抗体検査を行った。 ○結核健診 <ul style="list-style-type: none"> ・ 結核菌に暴露する可能性のある職場に勤務する職員に対し、定期健康診断と併せて年2回の胸部X線撮影を行うとともに年1回の血液検査を行った。 ・ 40歳以上の職員を対象に血液検査を実施し、各個人の基準値となる数値の把握を行った。 ・ 血液検査陽性者に文書により受診勧告を行った。 			

7-2 県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項

中期目標	6-2 県及び他の地方独立行政法人との連携 人事交流など、県及び県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項		
60	医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	III	III	III		医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県及び3法人間の人事交流を行った。 	III	III			
							【職員の他法人への出向状況】					
							区分\年度	H23	H24	H25		
							医師	0人	0人	0人		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																													
						<table border="1"> <tr> <td>コメディカル</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> </table> <p>【他法人職員の受入状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(派遣元、職種別内訳)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣元</th> <th>人数及び職員の内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜県総合医療センター</td> <td>薬剤師 1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【県からの派遣状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>15人</td> <td>11人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17人</td> <td>12人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>	コメディカル	3人	1人	0人	合計	3人	1人	0人	区分\年度	H23	H24	H25	医師	0人	0人	0人	看護師	2人	1人	0人	コメディカル	3人	1人	1人	合計	5人	2人	1人	派遣元	人数及び職員の内訳	岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名	区分\年度	H23	H24	H25	医師	2人	1人	2人	事務	15人	11人	8人	合計	17人	12人	10人			
コメディカル	3人	1人	0人																																																						
合計	3人	1人	0人																																																						
区分\年度	H23	H24	H25																																																						
医師	0人	0人	0人																																																						
看護師	2人	1人	0人																																																						
コメディカル	3人	1人	1人																																																						
合計	5人	2人	1人																																																						
派遣元	人数及び職員の内訳																																																								
岐阜県総合医療センター	薬剤師 1名																																																								
区分\年度	H23	H24	H25																																																						
医師	2人	1人	2人																																																						
事務	15人	11人	8人																																																						
合計	17人	12人	10人																																																						

7-3 医療機器・施設整備に関する事項

中期目標	6-3 医療器械・施設整備 医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に勘案して計画的に実施すること。
------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
61	(1) 中期目標の期間における医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断して着実に実施する。	III	III	III		<ul style="list-style-type: none"> 医療機器整備委員会において各診療科の要望を取りまとめて、費用対効果、需要と医療技術の進歩などを総合的に判断して購入予定機器を選定し、新規購入や更新を補助金の活用も図りながら 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器整備委員会において各診療科の要望を取りまとめて、費用対効果、需要と医療技術の進歩などを総合的に判断して購入予定機器を選定し、購入を実施した。 	III	III			

項目 No.	中期計画			過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
				H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
	<table border="1"> <tr> <th>施設及び設備 の内容</th> <th>予定額 (単 位: 百万円)</th> <th>財 源</th> </tr> <tr> <td>病院施設、医 療機器等整備</td> <td>4, 9 7 2</td> <td>設立団体からの 長期借入金等</td> </tr> </table>	施設及び設備 の内容	予定額 (単 位: 百万円)	財 源	病院施設、医 療機器等整備	4, 9 7 2	設立団体からの 長期借入金等					計画的に進める。 (単位: 百万円) <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>金 額</th> </tr> <tr> <td>医療機器等整備</td> <td>5 4 0</td> </tr> <tr> <td>施設等整備</td> <td>1 2 6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6 6 6</td> </tr> </table>	区分	金 額	医療機器等整備	5 4 0	施設等整備	1 2 6	計	6 6 6	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項 ・ 中病棟副玄関から東病棟時間外出入口間の歩道に屋根を整備し、雨天時等における車椅子等を使用した来院者の利便性向上を図った。 (単位: 百万円) <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>金 額</th> </tr> <tr> <td>医療機器等整備</td> <td>5 4 0</td> </tr> <tr> <td>施設等整備</td> <td>7 6</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6 1 6</td> </tr> </table>	区分	金 額	医療機器等整備	5 4 0	施設等整備	7 6	計	6 1 6			
施設及び設備 の内容	予定額 (単 位: 百万円)	財 源																														
病院施設、医 療機器等整備	4, 9 7 2	設立団体からの 長期借入金等																														
区分	金 額																															
医療機器等整備	5 4 0																															
施設等整備	1 2 6																															
計	6 6 6																															
区分	金 額																															
医療機器等整備	5 4 0																															
施設等整備	7 6																															
計	6 1 6																															

7-4 法人が負担する債務の償還に関する事項

中期 目標	6-4 法人が負担する債務の償還に関する事項 法人は、岐阜県に対し、地方独立行政法人法第66条第1項に規定する地方債のうち、法人成立の日までに償還されていないものに相当する額の債務を負担すること。 また、その債務の処理を確実にすること。
----------	--

項目 No.	中期計画			過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																
				H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																															
62	法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に 行っていく。 (単位: 百万円) <table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>中期目標期 間償還額</th> <th>次期以降 償還額</th> <th>総債務償 還額</th> </tr> <tr> <td>移行前地方 債償還債務</td> <td>3, 292</td> <td>3, 232</td> <td>6, 524</td> </tr> <tr> <td>長期借入金 償還額</td> <td>332</td> <td>1, 161</td> <td>1, 493</td> </tr> </table>	区 分	中期目標期 間償還額	次期以降 償還額	総債務償 還額	移行前地方 債償還債務	3, 292	3, 232	6, 524	長期借入金 償還額	332	1, 161	1, 493	III	III	III		法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に 行う。	企業債平成25年度償還額 (元本) 9月 1億 8千 8百万円 3月 4億 8千 2百万円 計 6億 7千 万円 【債務の償還状況 (合計)】 (単位: 百万円) <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> <tr> <td>22年</td> <td>9 3 2</td> <td>9 3 2</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>8 9 5</td> <td>8 6 1</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>4 8 1</td> <td>5 5 8</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>6 7 0</td> <td>6 6 8</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td></td> <td>6 0 5</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td></td> <td>3, 6 2 4</td> </tr> </table>	年度	実績	計画	22年	9 3 2	9 3 2	23年	8 9 5	8 6 1	24年	4 8 1	5 5 8	25年	6 7 0	6 6 8	26年		6 0 5	中期計画期間計		3, 6 2 4	III	III	
区 分	中期目標期 間償還額	次期以降 償還額	総債務償 還額																																								
移行前地方 債償還債務	3, 292	3, 232	6, 524																																								
長期借入金 償還額	332	1, 161	1, 493																																								
年度	実績	計画																																									
22年	9 3 2	9 3 2																																									
23年	8 9 5	8 6 1																																									
24年	4 8 1	5 5 8																																									
25年	6 7 0	6 6 8																																									
26年		6 0 5																																									
中期計画期間計		3, 6 2 4																																									

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																											
						(内訳) 移行前地方債償還債務 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年</td> <td>932</td> <td>932</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>861</td> <td>861</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>447</td> <td>447</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>516</td> <td>557</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td></td> <td>495</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td></td> <td>3,292</td> </tr> </tbody> </table> 長期借入金償還額 (単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>34</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>34</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>154</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td></td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td></td> <td>332</td> </tr> </tbody> </table> ・ 法人として岐阜県に対し負担する債務の償還を 確実に行った。			年度	実績	計画	22年	932	932	23年	861	861	24年	447	447	25年	516	557	26年		495	中期計画期間計		3,292	年度	実績	計画	22年		0	23年	34	0	24年	34	111	25年	154	111	26年		110	中期計画期間計		332			
年度	実績	計画																																																			
22年	932	932																																																			
23年	861	861																																																			
24年	447	447																																																			
25年	516	557																																																			
26年		495																																																			
中期計画期間計		3,292																																																			
年度	実績	計画																																																			
22年		0																																																			
23年	34	0																																																			
24年	34	111																																																			
25年	154	111																																																			
26年		110																																																			
中期計画期間計		332																																																			